

平成27年度
尾張旭市営バス利用状況報告書



平成28年8月
都市整備部都市計画課

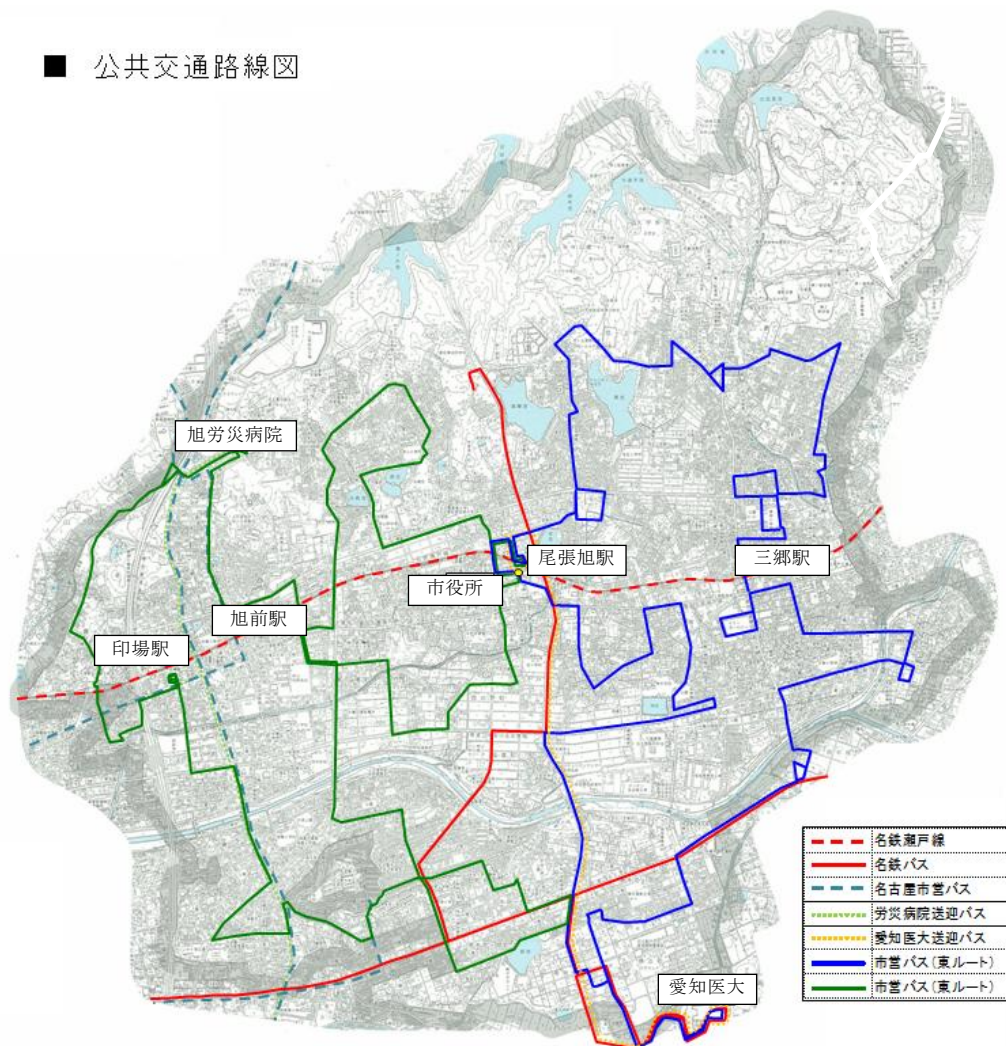
目 次

1	市営バスの概要	1
2	市営バス運行の経緯	2
(1)	試験運行開始前	2
(2)	試験運行の実施	3
(3)	本格運行の実施	3
(4)	運行見直しの検討、運行内容変更	5
3	市営バスの利用状況	5
(1)	利用者の推移及び内訳	5
(2)	ルート別利用者数の状況	6
(3)	運行便別利用者数の状況（全体）	7
(4)	運行便別利用者数の状況（ルート別）	8
(5)	停留所別利用者数の状況	11
(6)	ルート別の停留所利用の状況	20
(7)	平日第2便の平均乗車人員の状況	24
(8)	曜日別の利用者数の状況	27
4	市営バスの運行経費の状況	28
(1)	市営バスの運行経費の状況	28
(2)	近隣市町のコミュニティバス運行経費等の状況	29
5	市営バス運行に対する市民意識	31
	平成27年度利用者アンケート調査集計結果	34

1 市営バスの概要（～H28. 3. 31）

- 本市の市営バスは、平成20年4月1日から、4ルート（西、南西、東及び南ルート）の「シャトル方式」で本格運行を開始しました。そして、同年10月1日から、西ルートと南西ルートを統合した「西ルート」、東ルートと南ルートを統合した「東ルート」の2ルートに再編し、それぞれ「右回り」及び「左回り」の「双方向ループ方式」による運行に変更しました。
- 本報告書は、平成27年4月1日から平成28年3月31日までの、1年間の西ルート（マイクロバス2台 定員22人）及び東ルート（マイクロバス2台 定員26人）の利用者数を集計したものです。
- 利用料金は、1回100円で、小学校未就学児並びに障がい者（児）本人及びその付添い人1人は無料としています。
- 運行日は、平日及び土曜日とし、日曜日、祝日（振替含む）及び年末年始（12月29日から1月3日まで）は運休としています。また、運行時間は8時20分から17時30分までとし、1日7便を運行しています。
- 運行距離は、西ルートが23.9km、東ルートが24.2kmとしています。

■ 公共交通路線図



2 市営バス運行の経緯

(1) 試験運行開始前

ア 平成15年度以前

▽ 平成10年度

市議会定例会において、多数の会派から巡回バスについて質問。

▽ 平成11年度

巡回バス実現に係る18,000人余りの署名が、「だれでも乗れる市内巡回バスの早期実現と高齢者・障害者への交通助成費を求める陳情書」として提出。

▽ 平成12年度

交通問題対策特別委員会の設置。

イ 平成15年度

▽ 本市における生活交通のあり方を検討するものとして、学識経験者や市民の代表、公募委員からなる「尾張旭市交通問題対策協議会」を開催。

▽ 協議会では、地域交通に係る勉強会や他自治体の事例の視察、公共交通移動実態調査の検証等を実施。

▽ 協議会からの主な提言

・市内には、公共交通に恵まれた地域もあるが、一方では移動に制約を受ける交通空白地もある。このため、まずは公共交通のサービス水準が相対的に低い地域を対象として、市による新たな交通手段の確保を図ること。

・可能な限り早期に、市による新たな交通手段を具体化するため、まずは試験運行の実現のための検討組織の設置や必要な予算措置などを行うことと合わせ、真に市民の利活用があるかデータを収集すること。

・新たな交通手段によるサービスの維持などは、市民の利用の状況に大きく左右されることであり、それを利用し、守り育てていくことは市民の責任でもあることを訴えること。

・通勤通学者を考えると、運行時間が早朝から夜までになり、運行経費もかかる。まず、第1歩を始めることが重要という観点から、「元気で歩けるお年寄り」などを対象に、1人で活動可能な人の交通手段を考えること。

ウ 平成16年度

▽ 提言に基づき、試験運行の仕組みを構築する組織として、「尾張旭市交通問題懇話会」を開催。

▽ 懇話会では、平成15年度に行った公共交通移動実態調査の結果に基づき、ルート設定や使用車両の検討を実施。また、既存のバス停及び鉄道駅から500メートル圏外を「市内の交通空白地」と定義し、その解消を目指すことを確認。

(2) 試験運行の実施

ア 平成16年12月1日～平成17年7月31日

料金を1回100円として、9人乗りワゴン車3台で、西ルート、東ルート及び南ルートの3ルートの試験運行を開始。なお、満車時においては箱型タクシーにて対応。

その結果、南ルートの利用状況が少なく、更なる利用増進が課題となった。

イ 平成17年8月1日～平成18年8月6日

主に南ルートを増強し、愛知医大及び本地ヶ原住宅に停留所を設置。その結果、乗り継ぎ利用者の増加と、これに伴う積み残し対応タクシーの増加が発生。さらに、運行頻度の充実に對する要望や、未運行地域からの要望も増加。

ウ 平成18年8月7日～平成20年3月31日

ルートの見直しを行い、3ルートから4ルートに拡充（南西ルートを新たに増設）。

また、平成19年12月5日からは、西ルート、東ルートにマイクロバスを導入。これに合わせ、車両デザインを市民公募するとともに、愛称を「あさぴ一号」とした。なお、南ルート及び南西ルートについては、引き続き9人乗りワゴン車にて対応。

(3) 本格運行の実施

ア 平成20年4月1日～9月30日

指定管理者制度の導入により、本格運行を開始。併せてルートの見直しを実施するとともに、障がい者本人の運賃を無料化。

また、南ルート、南西ルートに指定管理者所有のマイクロバスを導入。

イ 平成20年10月1日～

西ルートと南西ルートを統合して「西ルート」、東ルートと南ルートを統合して「東ルート」とし、「シャトル方式」の運行を、2ルート4台の車両で運行する「双方向ループ方式」に変更。

また、平成20年11月27日からは、南ルートと南西ルートで使用していた指定管理者所有の車両を、市所有のマイクロバスに変更し、4台の車両のデザインを統一。

ウ 平成24年4月1日～

名鉄瀬戸線旭前駅の駅前広場整備に伴い、西ルートを一部変更し、名鉄瀬戸線北側から旭前駅へ乗り入れを実施。

(4) 運行見直しの検討、運行内容変更

ア 平成26年4月1日～平成27年3月31日

市営バスをとりまく環境の変化、市民からの新たな要望（運行頻度の向上や日祝日運行等）及び車両の老朽化を踏まえ、運行見直しの検討を実施。

その結果、市営バスが市民生活における重要な移動手段として定着していることから、現行の運行ルートを基本とした見直しを行うこととした。

イ 平成27年4月1日～平成28年3月31日

平成26年度の検討結果を踏まえた、新たな運行ルート及び停留所位置を検討し、それに基づく運行ダイヤ及び運行経費を検討。また、利便性向上によるバス利用促進を図るため、定期券等の導入を検討。

ウ 平成28年4月1日～

運行見直しの検討結果を踏まえ、運行内容を次のとおり変更。

▽ 運行日：新たに日曜日、祝日を運行(運休日：年末年始(12/29～1/3)のみ)

▽ 運行本数：平日は1日9便、休日(土日祝日)は5便

- ・ 平日：運行間隔は60分に1本、8時15分～19時05分
- ・ 休日：運行間隔は100分に1本、9時20分～17時20分

▽ 運賃 運賃や回数乗車券はそのままに、新たに定期乗車券を導入

- ・ 定期乗車券：1か月3,000円

▽ 主な新規乗入れ先

- ・ 西ルート：本地住宅(名古屋市営バスターミナル内に移設)
愛知医大(停留所は東ルートと共通)
- ・ 東ルート：森林公園(園内に停留所を新設)
多世代交流館(交流館近くに停留所を新設)

▽ 運行距離

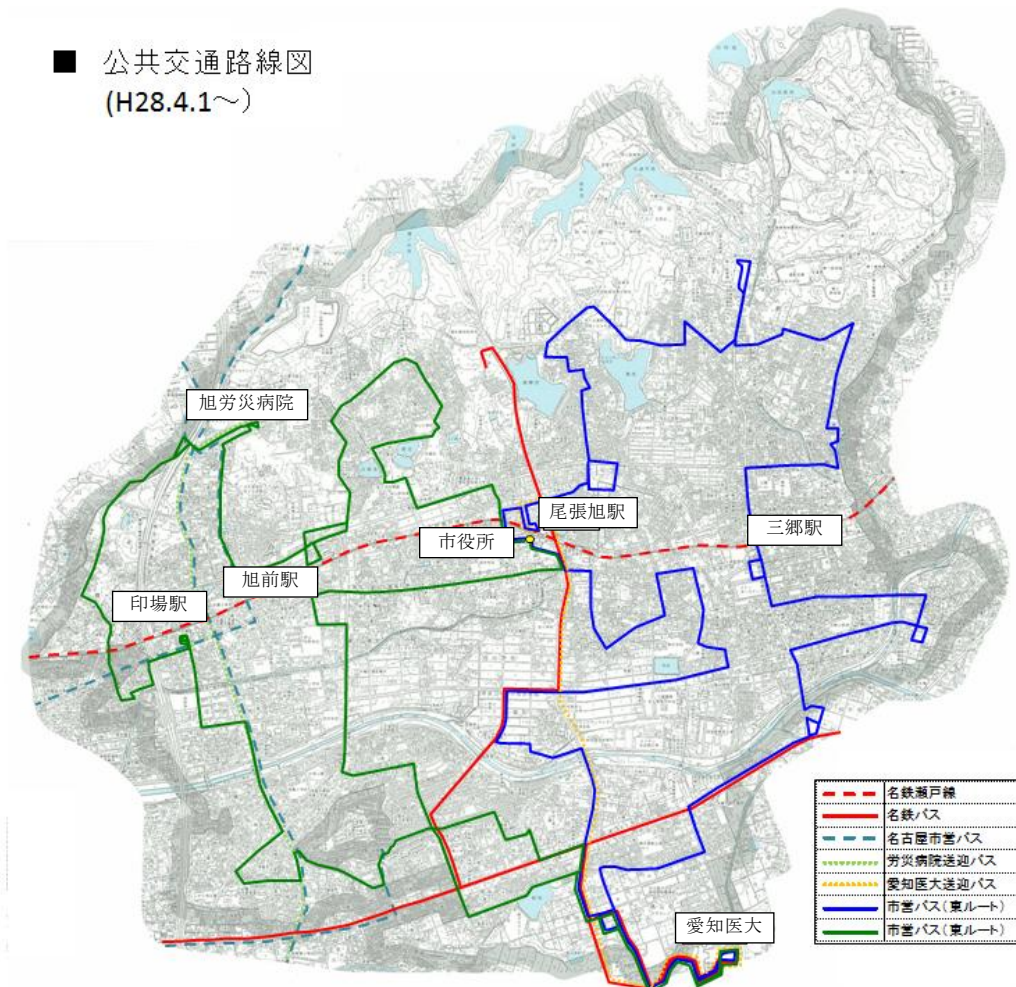
- ・ 西ルート：24.5km 東ルート：24.4km

▽ 車両

車両を増車し、西ルート3台、東ルート3台 計6台で運行

- ・ 購入する車両(4台)は現行と同車種で、デザインを一新

■ 公共交通路線図 (H28.4.1～)



3 市営バスの利用状況

(1) 利用者の推移及び内訳

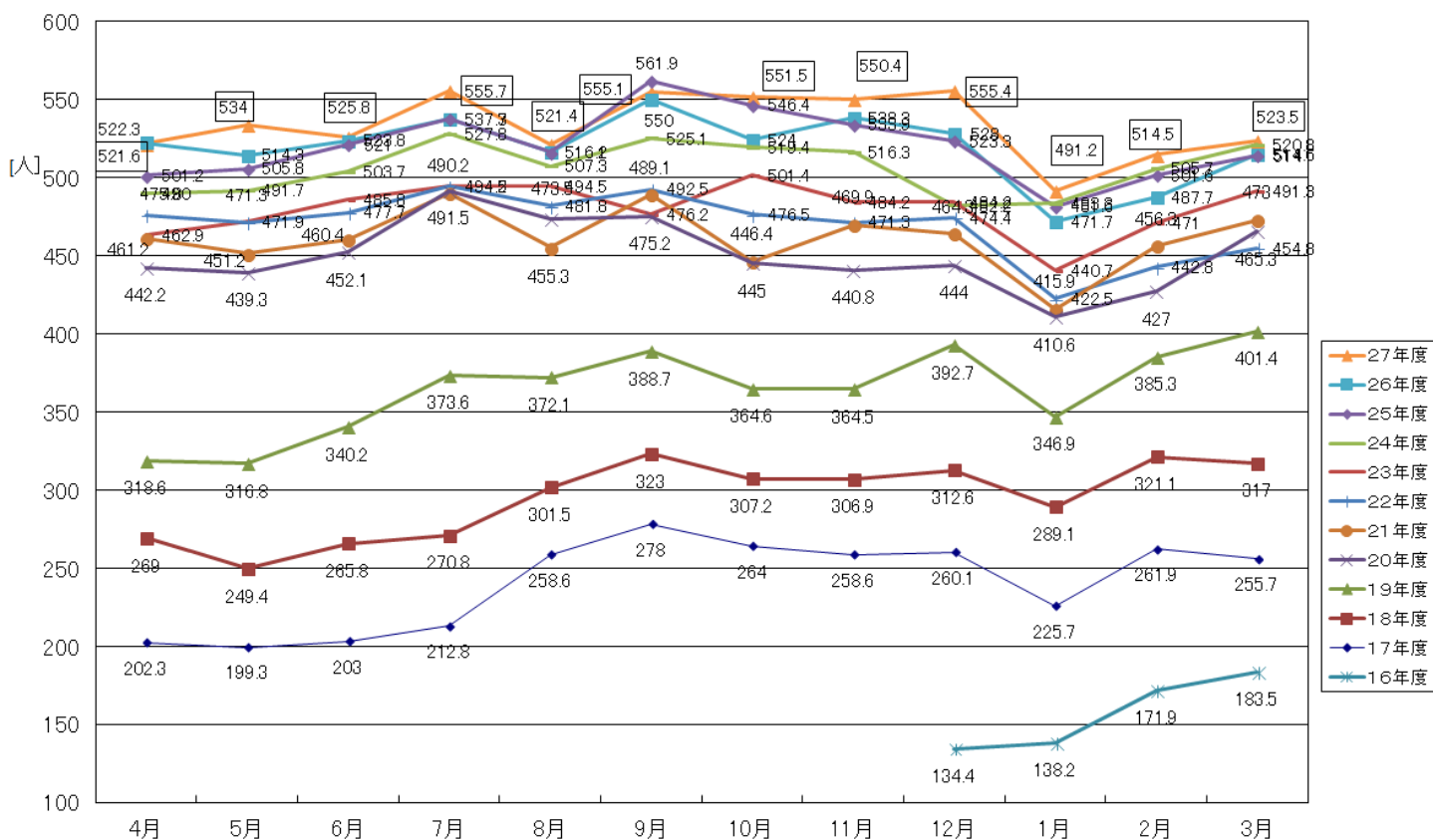
○ 年間利用者数の推移

単位：人

	年間利用者数	1日あたり 平均利用者数	有料利用者	無料利用者		
				未就学	障がい者	介助者
平成16年度	14,995	157.8	14,409	478	—	108
平成17年度	70,540	239.9	67,498	2,682	—	360
平成18年度	86,793	294.2	84,064	2,492	—	237
平成19年度	107,263	363.6	103,214	3,739	—	310
平成20年度	132,653	451.2	119,918	4,320	7,703	712
平成21年度	135,625	461.3	118,363	3,288	12,813	1,161
平成22年度	138,273	470.3	119,080	2,718	15,205	1,270
平成23年度	141,731	480.4	118,025	2,993	18,888	1,825
平成24年度	148,868	506.4	122,785	3,464	20,616	2,003
平成25年度	153,553	520.5	124,102	3,015	24,562	1,874
平成26年度	152,693	519.4	120,949	3,319	26,496	1,929
平成27年度	157,319	533.3	124,670	4,043	26,569	2,037

- ※ 16年度は12月からの4か月間（3ルート、ジャンボタクシーでの運行）
- ※ 18年度は8月から4ルートでの運行、マイクロバスでの無償運行等を実施
- ※ 19年度は12月から2台をマイクロバスに変えて運行
- ※ 20年度は10月から2ルート「双方向ループ方式」に変更して運行

○ 1日あたり平均利用者数の推移



(2) ルート別利用者数の状況

例年、冬季（12～2月）の間は、他の月と比べ、気温等を要因とする自然減と思われる利用者数の落ち込みがありますが、27年度の12月につきましては、利用の多い秋季（9～11月）並みとなっています。反対に8月は例年と同様利用の少ない傾向がありました。8月は猛暑やお盆による病院の休診により、利用が少ないと考えられます。

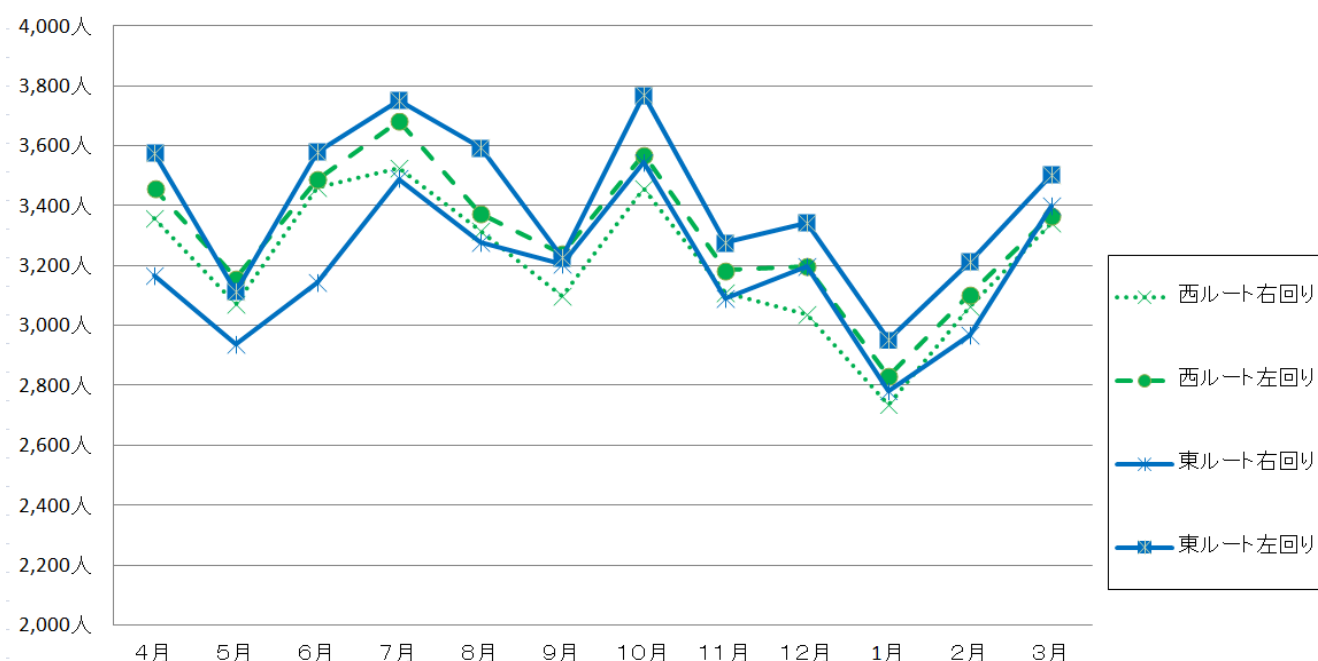
路線別で見ますと、各月の利用者数増減は同じような傾向があり、ゴールデンウィーク期間のある5月、気温の上がる8月～9月、気温が下がる1月について利用が減少しています。ルート別では、西ルートでの利用者数が伸びており、東ルートの利用者数を上回る月も多くなっています。

○ 路線別利用者数

単位：人

	西ルート			東ルート			合計	1日あたり 平均利用者数
	右回り	左回り	小計	右回り	左回り	小計		
4月(26日間)	3,359	3,458	6,817	3,167	3,577	6,744	13,561	521.6
5月(23日間)	3,072	3,158	6,230	2,937	3,115	6,052	12,282	534.0
6月(26日間)	3,462	3,488	6,950	3,143	3,579	6,722	13,672	525.8
7月(26日間)	3,524	3,682	7,206	3,489	3,753	7,242	14,448	555.7
8月(26日間)	3,314	3,374	6,688	3,276	3,593	6,869	13,557	521.4
9月(23日間)	3,097	3,241	6,338	3,204	3,226	6,430	12,768	555.1
10月(26日間)	3,456	3,571	7,027	3,543	3,769	7,312	14,339	551.5
11月(23日間)	3,108	3,185	6,293	3,091	3,276	6,367	12,660	550.4
12月(23日間)	3,038	3,199	6,237	3,196	3,342	6,538	12,775	555.4
1月(23日間)	2,736	2,831	5,567	2,780	2,951	5,731	11,298	491.2
2月(24日間)	3,062	3,104	6,166	2,969	3,212	6,181	12,347	514.5
3月(26日間)	3,342	3,368	6,710	3,399	3,503	6,902	13,612	523.5
合計(295日間)	38,570	39,659	78,229	38,194	40,896	79,090	157,319	533.3

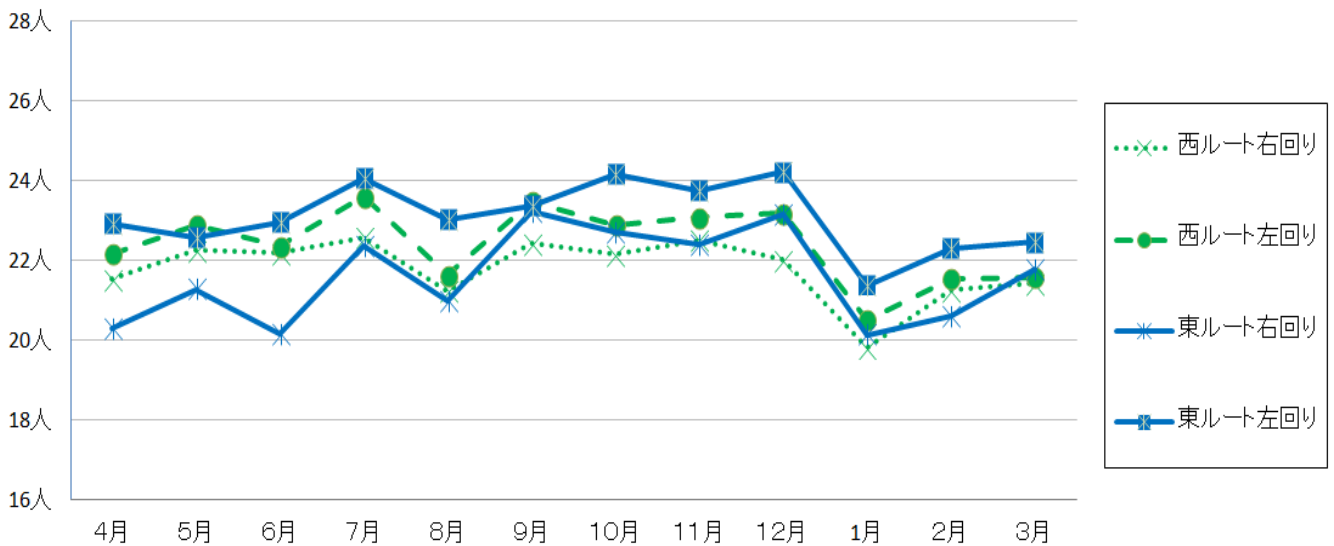
※（ ）内は運行日数



○ 1便当りの平均利用者数

単位：人

	西ルート		東ルート		全体	平成26年度 (全体)
	右回り	左回り	右回り	左回り		
4月	21.5	22.2	20.3	22.9	21.7	21.8
5月	22.3	22.9	21.3	22.6	22.3	21.4
6月	22.2	22.4	20.1	22.9	21.9	21.8
7月	22.6	23.6	22.4	24.1	23.2	22.4
8月	21.2	21.6	21.0	23.0	21.7	21.5
9月	22.4	23.5	23.2	23.4	23.1	22.9
10月	22.2	22.9	22.7	24.2	23.0	21.8
11月	22.5	23.1	22.4	23.7	22.9	22.4
12月	22.0	23.2	23.2	24.2	23.1	22.0
1月	19.8	20.5	20.1	21.4	20.5	19.7
2月	21.3	21.6	20.6	22.3	21.4	20.3
3月	21.4	21.6	21.8	22.5	21.8	21.4



(3) 運行便別利用者数の状況（全体）

平成27年4月から平成28年3月までの間における、西ルート及び東ルートの利用者数の運行便別の利用状況の割合は、次のとおりとなりました。

各ルートとも第2～4便の利用者数が多くなっています。

なお、第1便及び第7便は、全ルートのうち、一部の区間のみの運行であるため、その利用者数は他の便に比較し、少ない状況にあります。

	西ルート		東ルート	
	右回り	左回り	右回り	左回り
第1便(8:30～9:07)	10.5%	9.2%	5.9%	8.6%
第2便(9:15～10:33)	20.1%	22.0%	23.1%	19.4%
第3便(10:45～12:03)	19.2%	18.3%	21.2%	21.3%
第4便(12:15～13:33)	16.1%	17.9%	18.5%	19.4%
第5便(13:45～15:03)	12.9%	12.8%	12.1%	13.2%
第6便(15:15～16:33)	13.5%	12.7%	11.7%	13.6%
第7便(16:45～17:30)	7.8%	7.1%	7.4%	4.5%

(4) 運行便別利用者数の状況（ルート別）

平成27年4月、7月、10月及び平成28年1月における、西ルート及び東ルートの1日当りの利用者数を運行便別にそれぞれグラフで示しました。

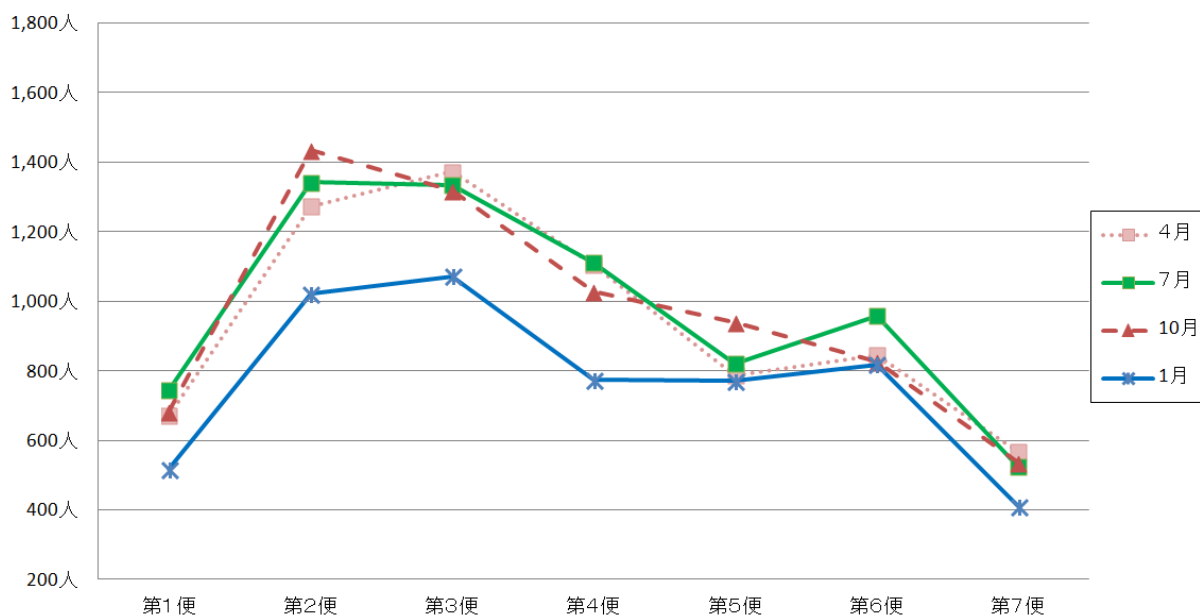
なお、第1便及び第7便は、全ルートのうち、一部の区間のみの運行であるため、利用者数は他の便に比較し、少ない状況にあります。

ア 西ルート（右回り）

西ルート（右回り）では、各月とも第2便（9：15～10：33）と第3便（10：45～12：03）の利用者数が最も多く、時間が遅くなるにつれ、利用者数も減少傾向にあります。

なお、利用者の多くが病院への通院、買い物、市役所など公共施設への用事などにバスを利用していることから、第2～3便での利用者数が多くなっていることが考えられます。

○ 西ルート（右回り）運行便別利用者数

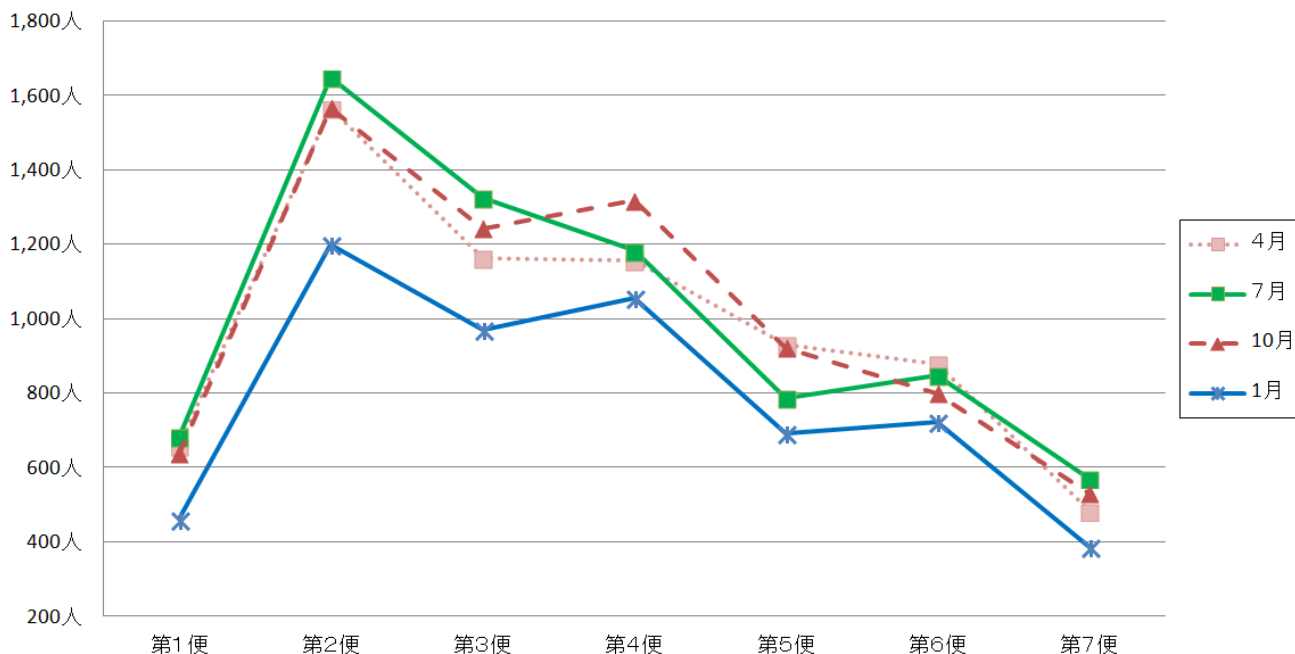


イ 西ルート（左回り）

西ルート（左回り）では、各月とも第2便の利用者数が最も多く、「右回り」と同様に、時間が遅くなるにつれ、利用者数も減少傾向にあります。

第2便の利用者数が一番多い理由として、病院への外来（旭労災病院）や商業施設の開店時間などが要因の一つであると考えられます。

○ 西ルート（左回り）運行便別利用者数

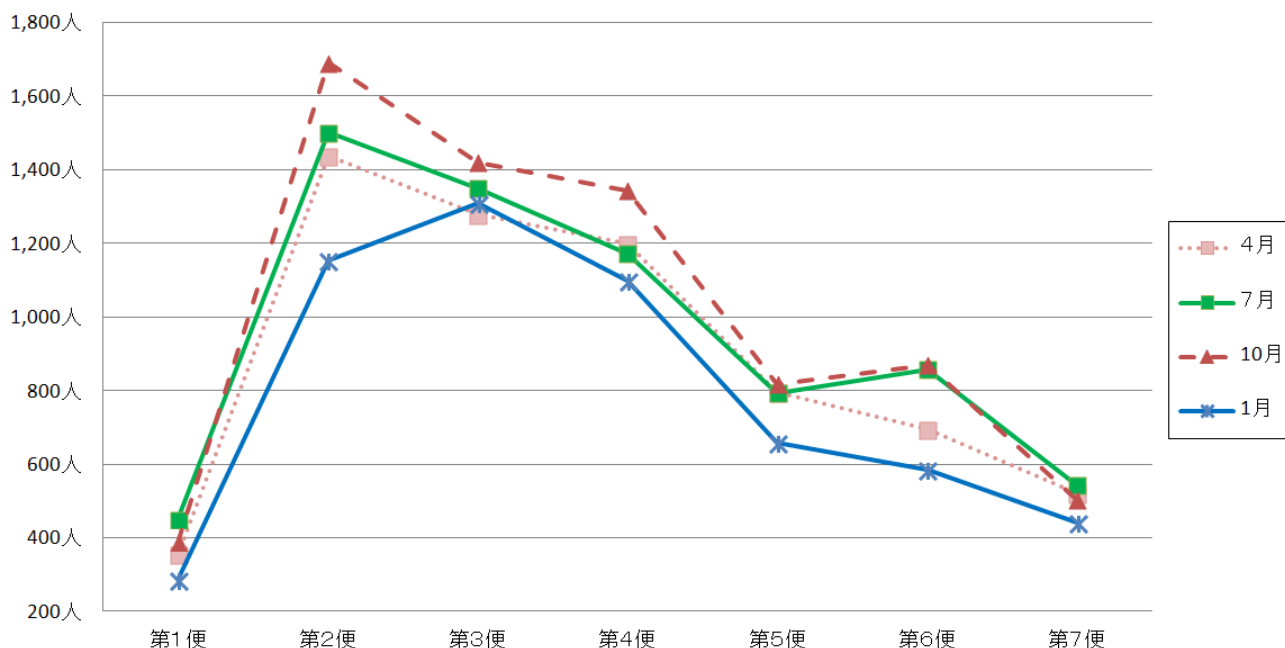


ウ 東ルート（右回り）

東ルート（右回り）では、各月とも第2便から第4便の利用者数が多い傾向が見られます。

この第2～4便では「市役所」「愛知医大」への利用に加え、「三郷南」の利用も多く、当停留所にある大型商業施設の利用者が多数あることが、その要因の一つであると考えられます。

○ 東ルート（右回り）運行便別利用者数

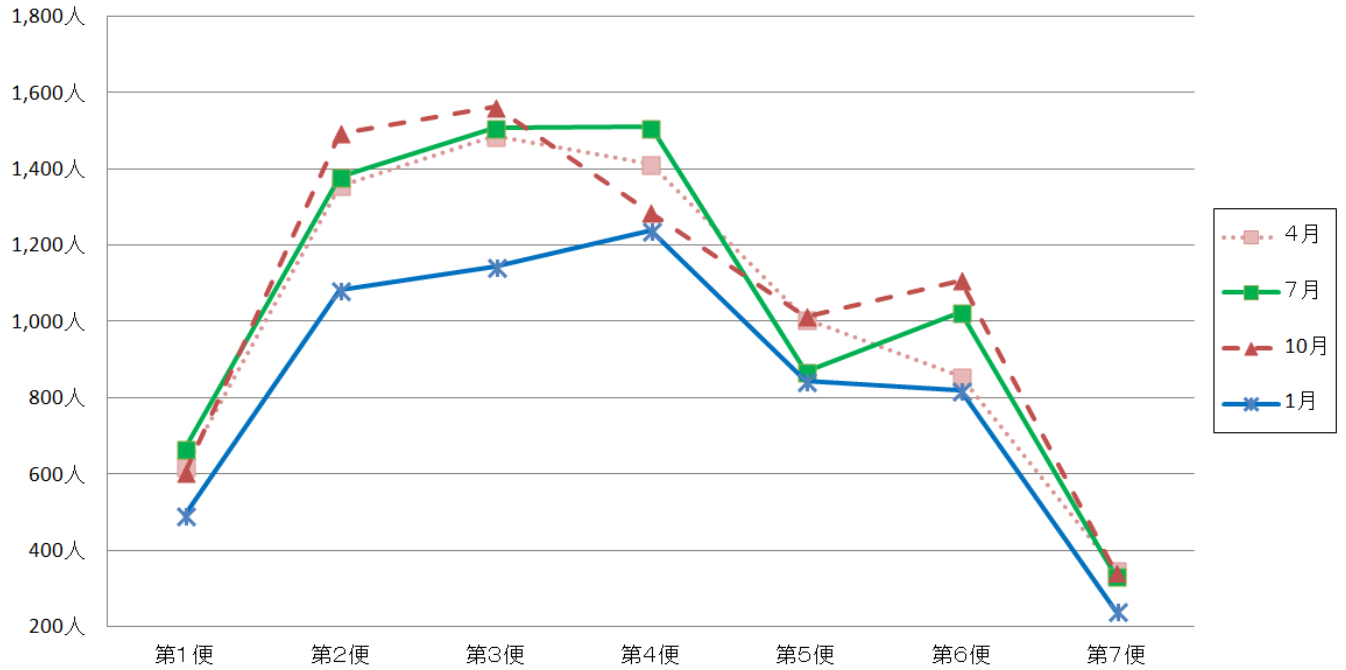


エ 東ルート（左回り）

東ルート（左回り）も右回りと同様に、各月とも第2～4便の利用者数が多くなっていますが、第3～4便については、他のルートよりも利用が多い傾向です。

また、第6便についても利用が他のルートよりも多く、これらは、愛知医大や商業施設にて用事を済ませて帰宅する利用者によるものと考えられます。

○ 東ルート（左回り）運行便別利用者数



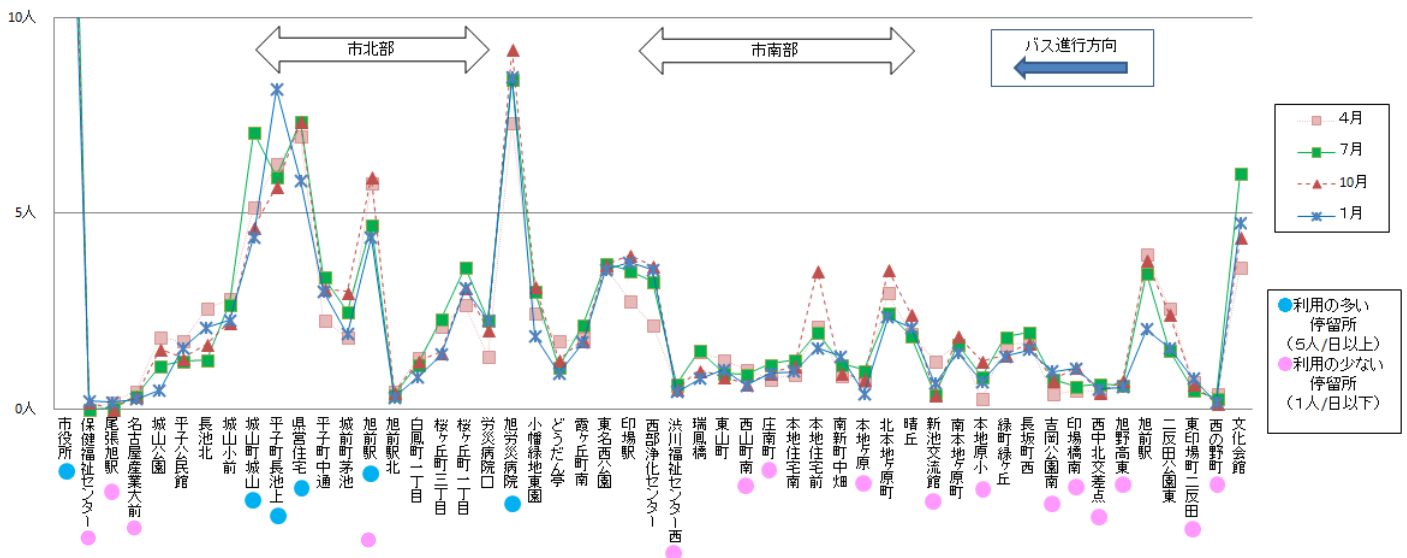
(5) 停留所別利用者数の状況

平成27年4月、7月、10月及び平成28年1月における、西ルート及び東ルートの1日あたりの利用者数を、停留所別に乗車・降車に分けて集計し、それぞれグラフで示しました。

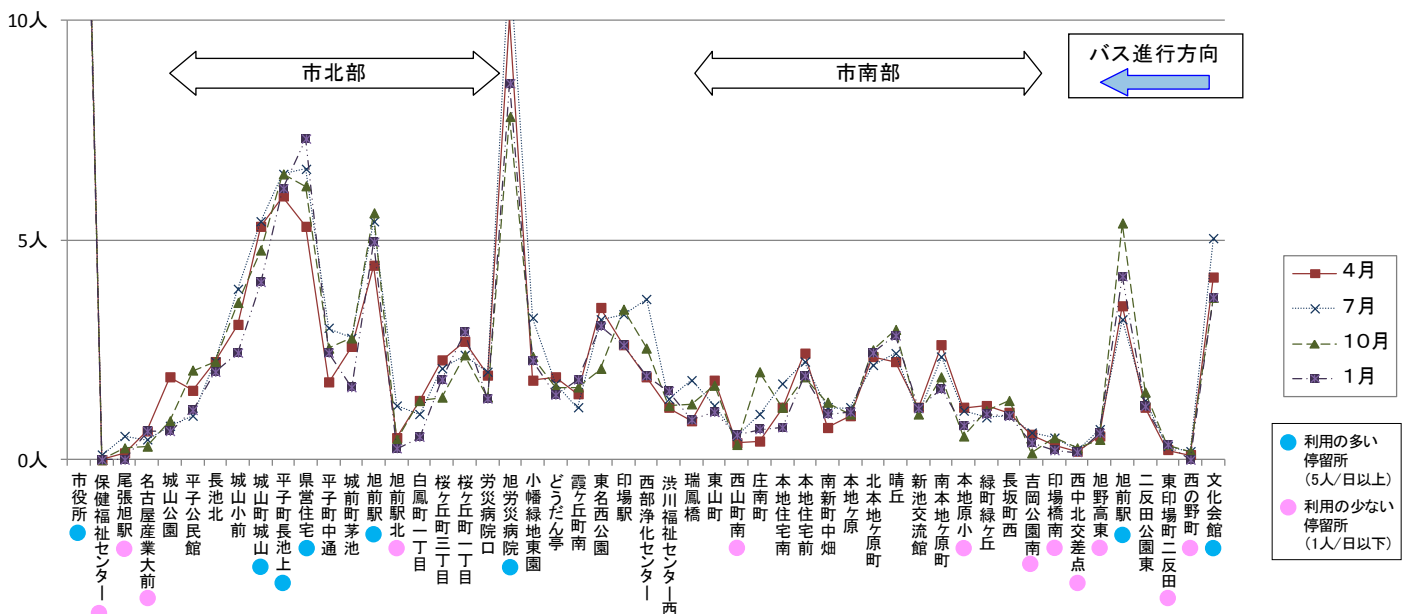
ア 西ルート（右回り）【乗車】

乗車の多い停留所（5人/日以上）は、「市役所」「城山町城山」「平子町長池上」「県営住宅」「旭前駅」「旭労災病院」となっており、市北部の住宅地での利用数が比較的高い傾向にあります。

一方、乗車の少ない停留所（1人/日未満）は、「保健福祉センター」「尾張旭駅」「名古屋産業大前」「旭前駅北」「渋川福祉センター西」「西山町南」「庄南町」「本地ヶ原」「新池交流館」「本地原小」「吉岡公園南」「印場橋南」「西中北交差点」「旭野高東」「東印場町二反田」「西の野町」となっており、特に市南部での利用数が少ない傾向にあります。なお、月別の利用状況には、それほど大きな差異は見られません。



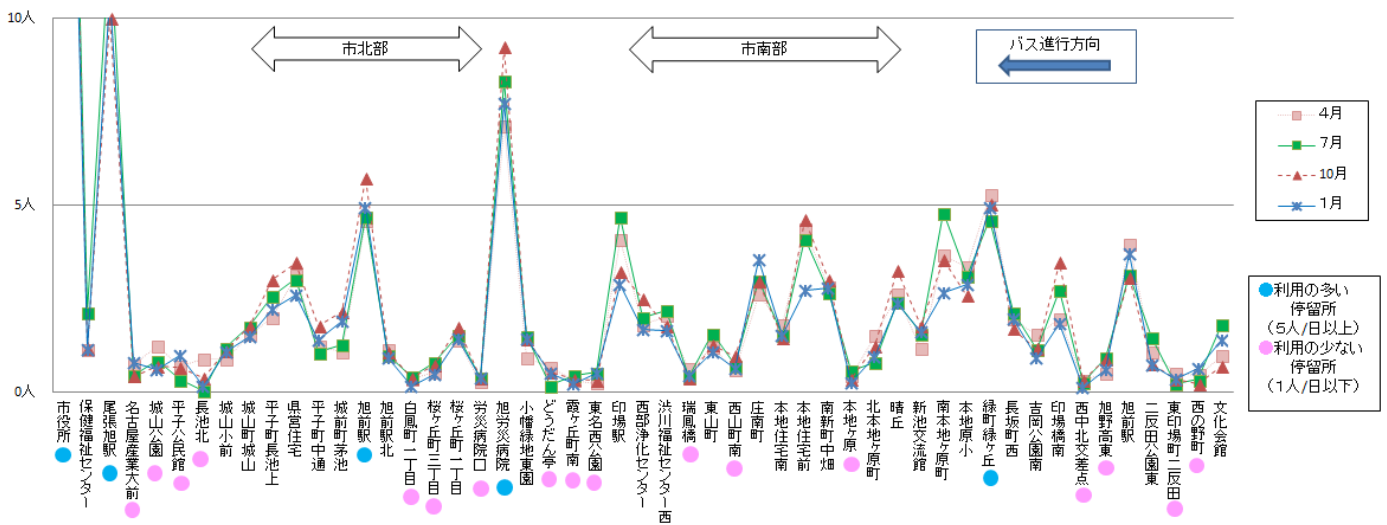
参考 平成26年度西ルート右回り利用状況【乗車】



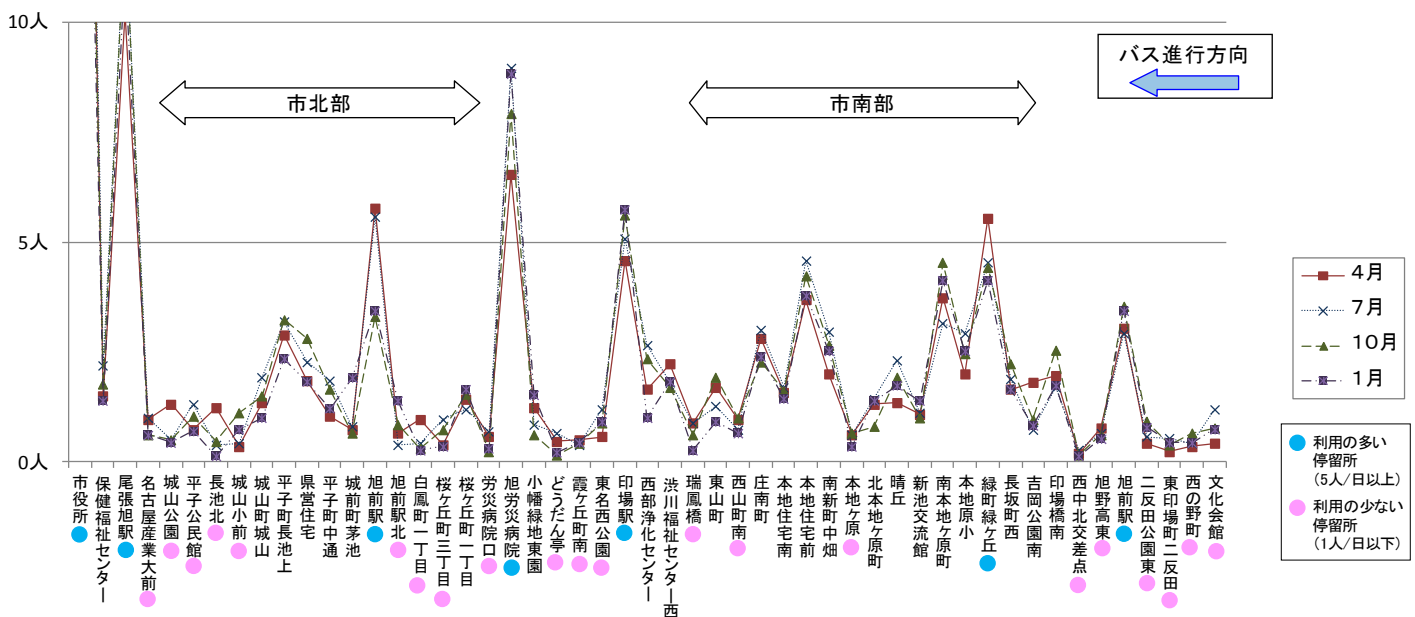
イ 西ルート（右回り）【降車】

降車の多い停留所（5人/日以上）は、「市役所」「尾張旭駅」「旭前駅」「旭労災病院」「緑町緑ヶ丘」となっており、乗車と比較し、市南部での利用数が比較的高い傾向にあります。また、「尾張旭駅」での降車が非常に多くなっています。

一方、降車の少ない停留所（1人/日未満）は、「名古屋産業大前」「城山公園」「平子公民館」「長池北」「白鳳町一丁目」「桜ヶ丘町三丁目」「労災病院口」「どうだん亭」「霞ヶ丘町南」「東名西公園」「瑞鳳橋」「西山町南」「本地ヶ原」「西中北交差点」「旭野高東」「二反田公園東」「東印場町二反田」「西の野町」「文化会館」となっており、乗車と比較し、市北部での利用数が少ない傾向にあります。



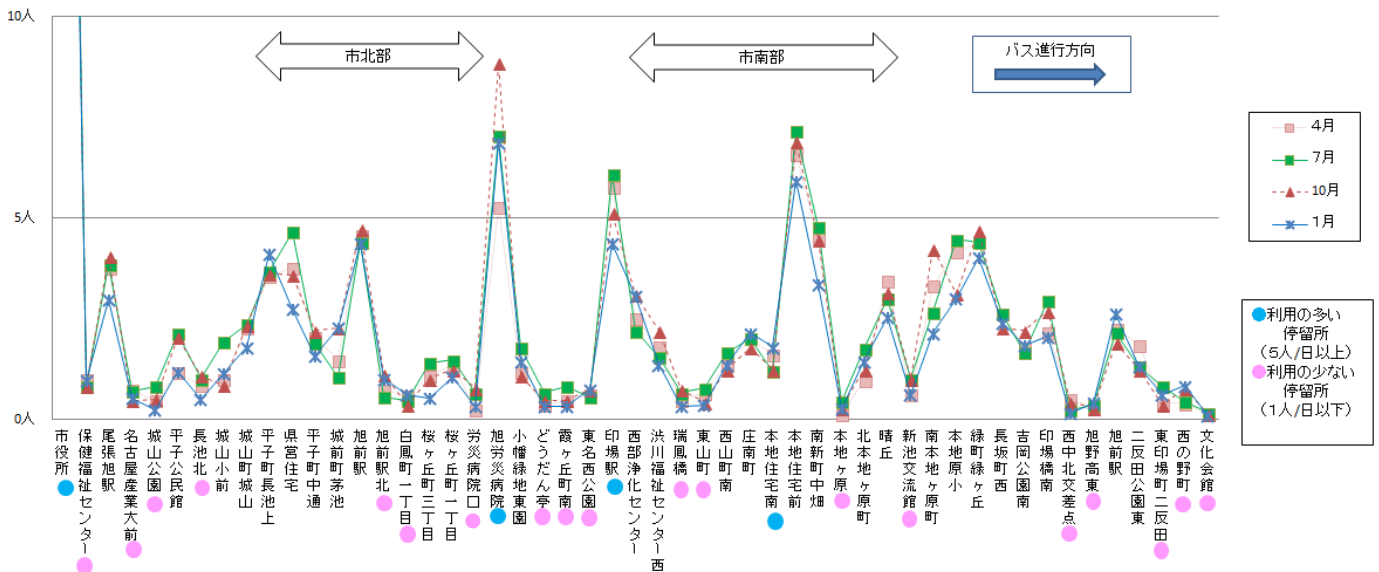
参考 平成26年度西ルート右回り利用状況【降車】



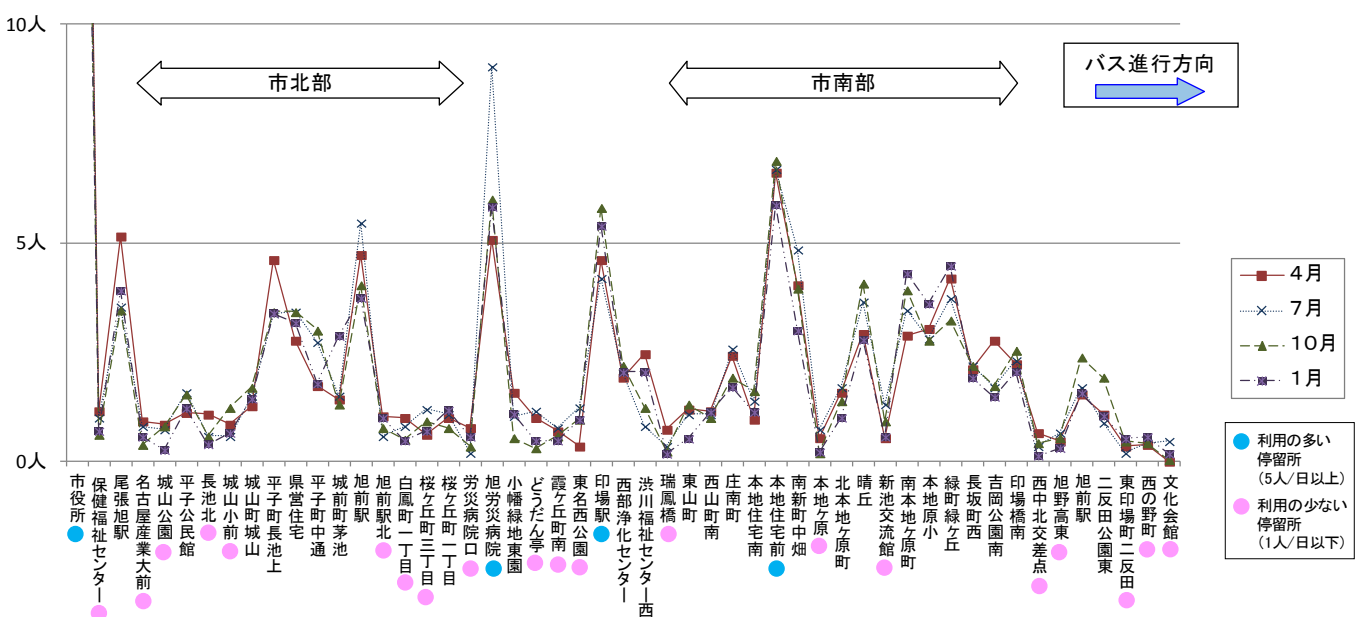
ウ 西ルート（左回り）【乗車】

乗車の多い停留所（5人/日以上）は、「市役所」「旭労災病院」「印場駅」「本地住宅前」となっており、「右回り」と比較し、市北部の住宅地での利用数がやや少なく、ルート全体にわたって利用されている状況にあります。

一方、乗車の少ない停留所（1人/日未満）は、「保健福祉センター」「名古屋産業大前」「城山公園」「長池北」「旭前駅北」「白鳳町一丁目」「桜ヶ丘町三丁目」「労災病院口」「どうだん亭」「霞ヶ丘町南」「東名西公園」「瑞鳳橋」「東山町」「本地ヶ原」「新池交流館」「西中北交差点」「旭野高東」「東印場町二反田」「西の野町」「文化会館」となっています。



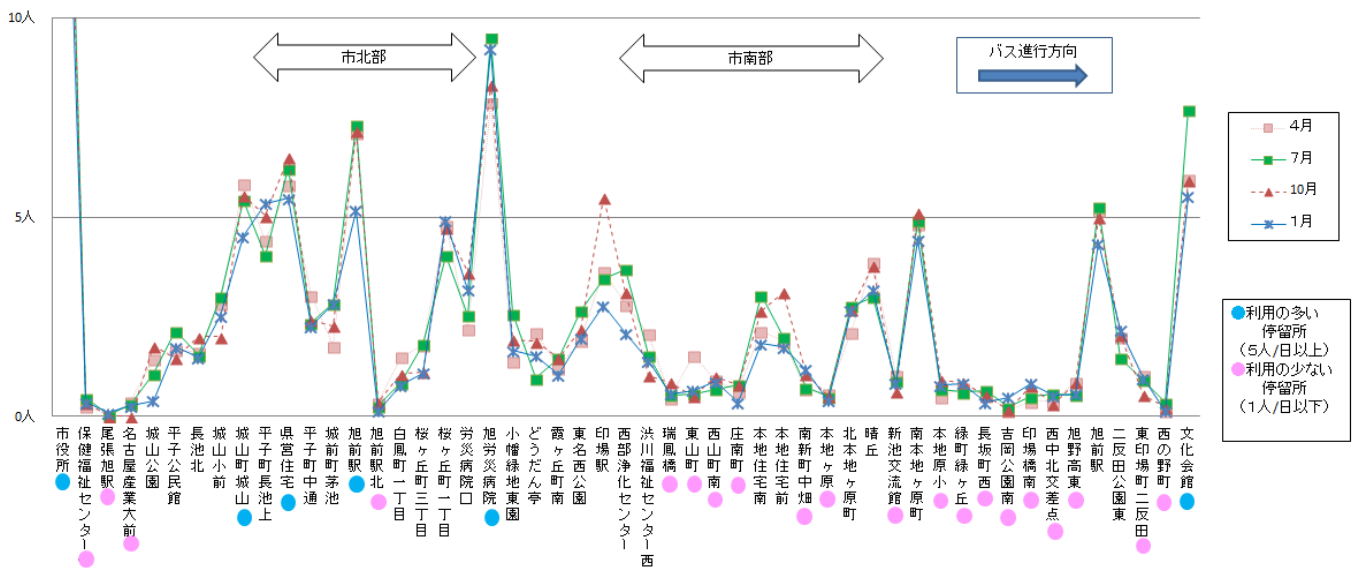
参考 平成26年度西ルート左回り利用状況【乗車】



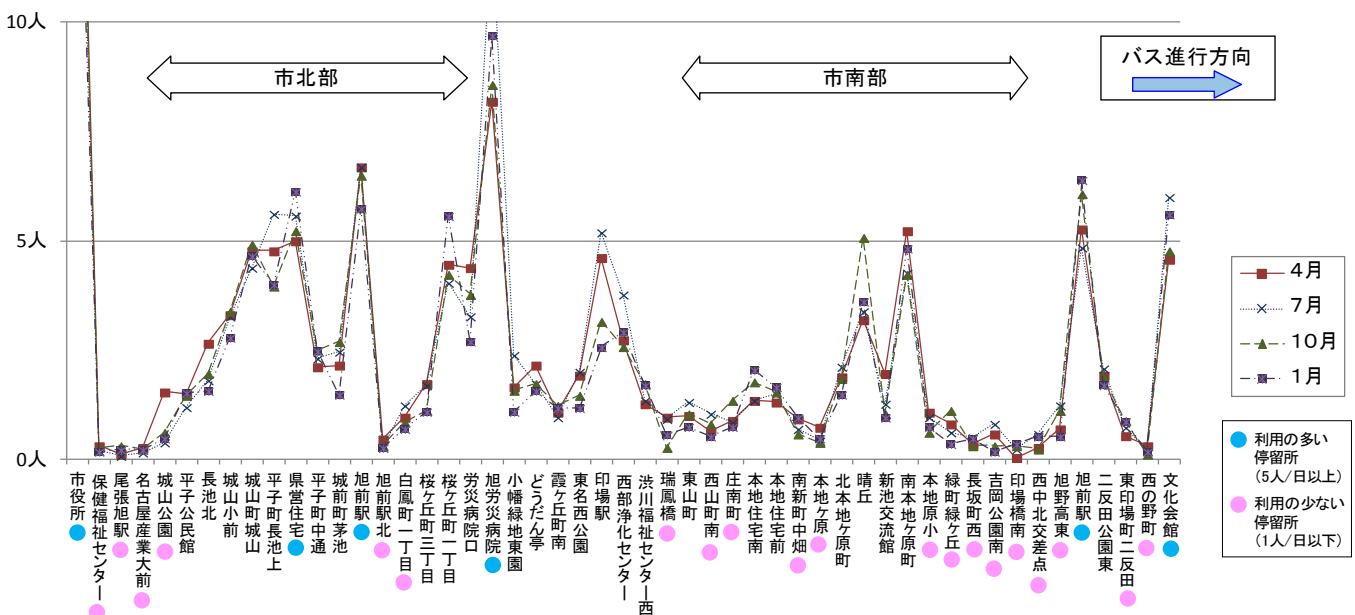
エ 西ルート（左回り）【降車】

降車の多い停留所（5人/日以上）は、「市役所」「城山町城山」「県営住宅」「旭前駅」「旭労災病院」「文化会館」となっており、「右回り」の「乗車」と類似した傾向が見られます。

一方、降車の少ない停留所（1人/日未満）は、「保健福祉センター」「尾張旭駅」「名古屋産業大前」「旭前駅北」「瑞鳳橋」「東山町」「西山町南」「庄南町」「南新町中畑」「本地ヶ原」「新池交流館」「本地原小」「緑町緑ヶ丘」「長坂町西」「吉岡公園南」「印場橋南」「西中北交差点」「旭野高東」「東印場町二反田」「西の野町」となっており、「右回り」で「尾張旭駅」の利用数が多かったことと対照的な結果となっています。



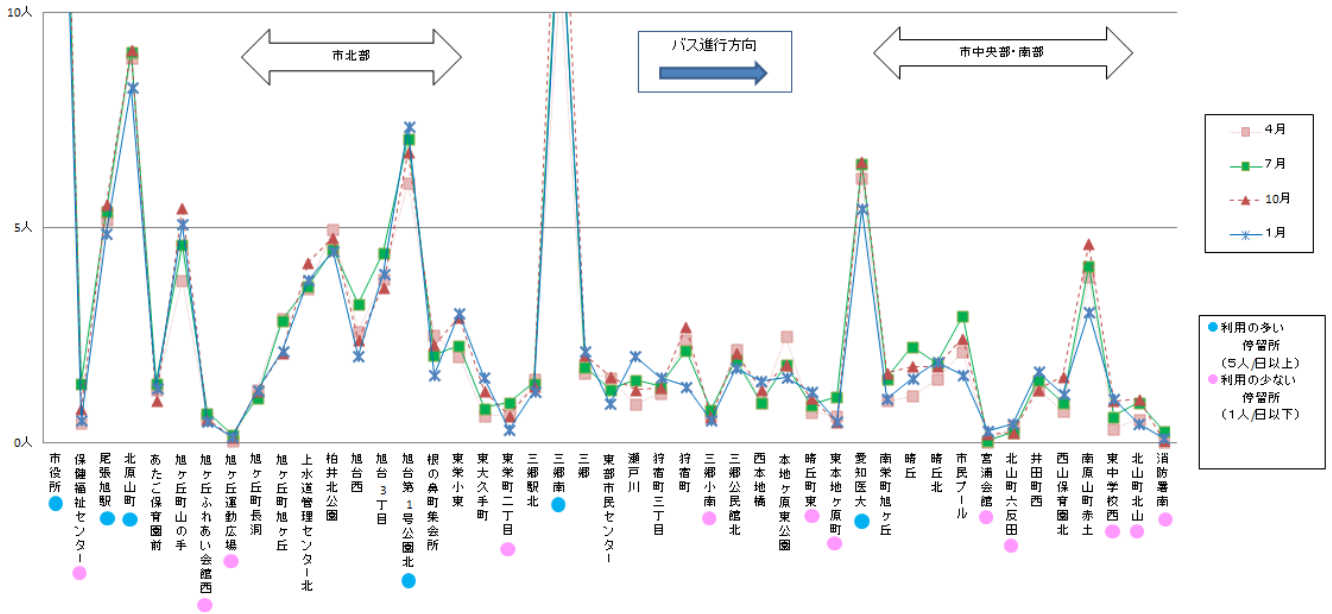
参考 平成26年度西ルート左回り利用状況【降車】



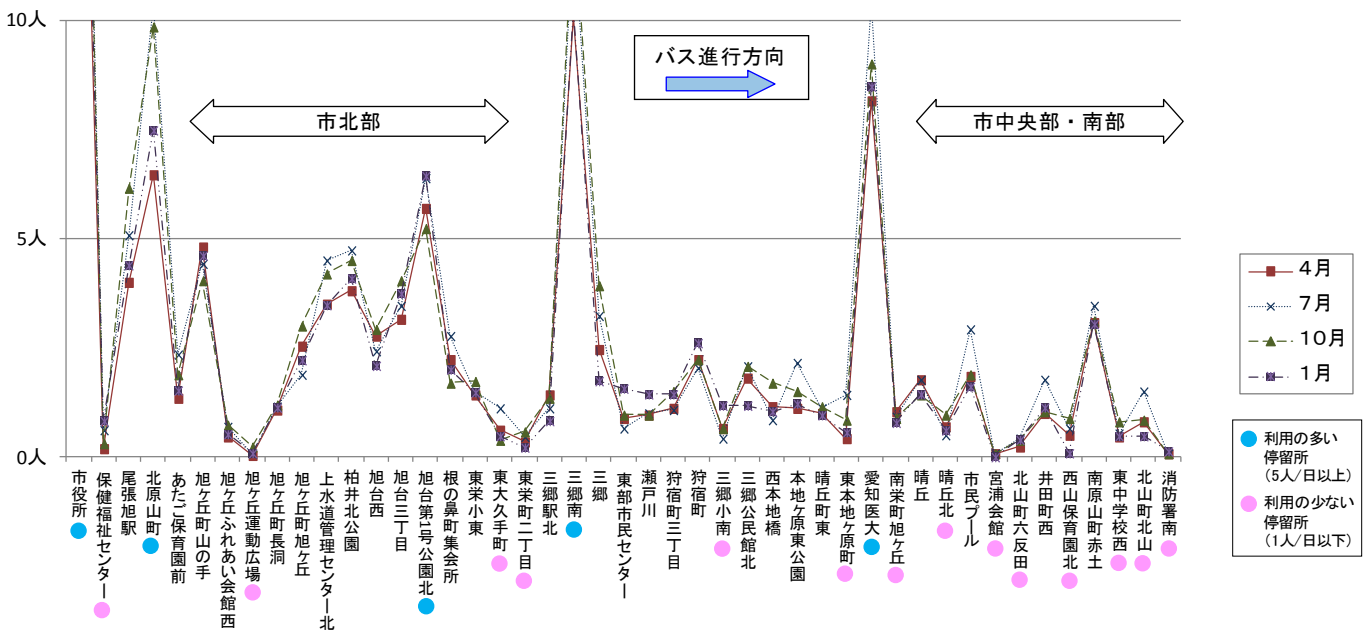
オ 東ルート（右回り）【乗車】

乗車の多い停留所（5人/日以上）は、「市役所」「尾張旭市」「北原山町」「旭台第1号公園北」「三郷南」「愛知医大」となっており、市北部の住宅地での利用数が比較的高い傾向にあります。

一方、乗車の少ない停留所（1人/日未満）は、「保健福祉センター」「旭ヶ丘ふれあい会館西」「旭ヶ丘運動広場」「東栄町二丁目」「三郷小南」「晴丘町東」「東本地ヶ原町」「宮浦会館」「北山町六反田」「東中学校西」「北山町北山」「消防署南」となっており、市南部や中央部での利用数が少ない傾向にあります。



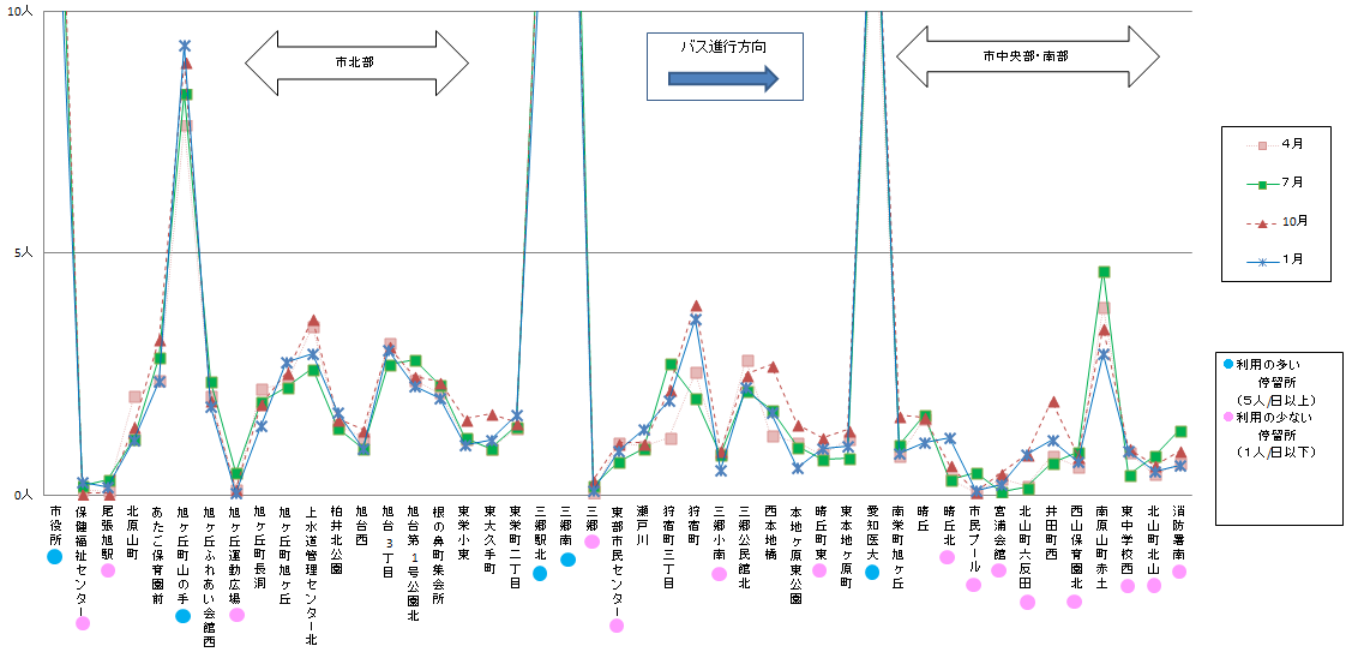
参考 平成26年度東ルート右回り利用状況【乗車】



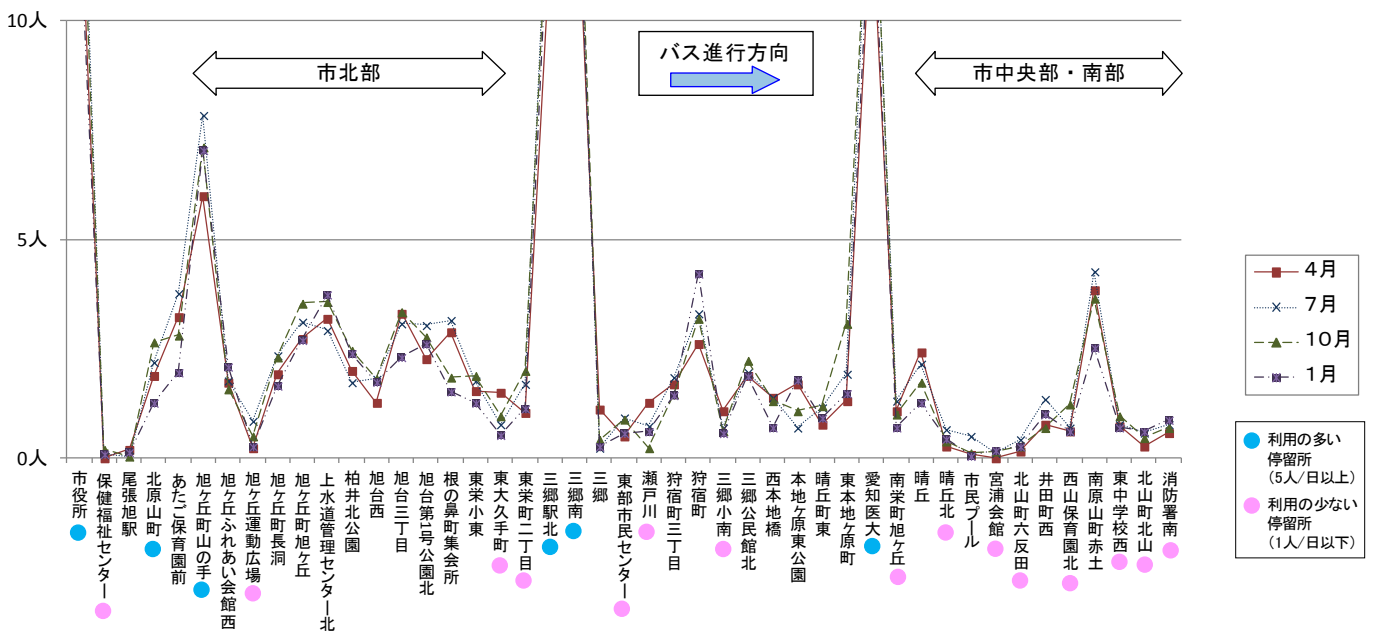
カ 東ルート（右回り）【降車】

降車の多い停留所（5人/日以上）は、「市役所」「旭ヶ丘町山の手」「三郷駅北」「三郷南」「愛知医大」となっており、特に大型商業施設のある「三郷南」と三郷駅に近接する「三郷駅北」は利用が多い状況にあります。

一方、降車の少ない停留所（1人/日未満）は、「保健福祉センター」「尾張旭駅」「旭ヶ丘運動広場」「三郷」「東部市民センター」「三郷小南」「晴丘町東」「晴丘北」「市民プール」「宮浦会館」「北山町六反田」「西山保育園北」「東中学校西」「北山町北山」「消防署南」となっており、乗車と同様、市南部や中央部での利用数が少ない傾向にあります。



参考 平成26年度東ルート右回り利用状況【降車】

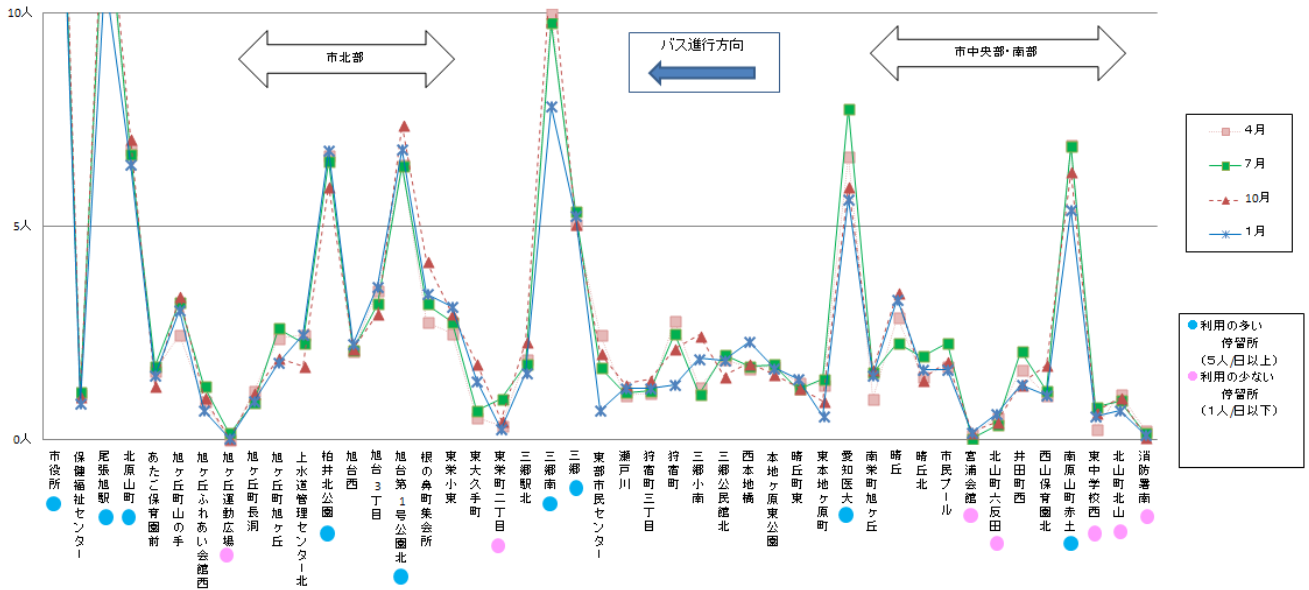


ク 東ルート（左回り）【降車】

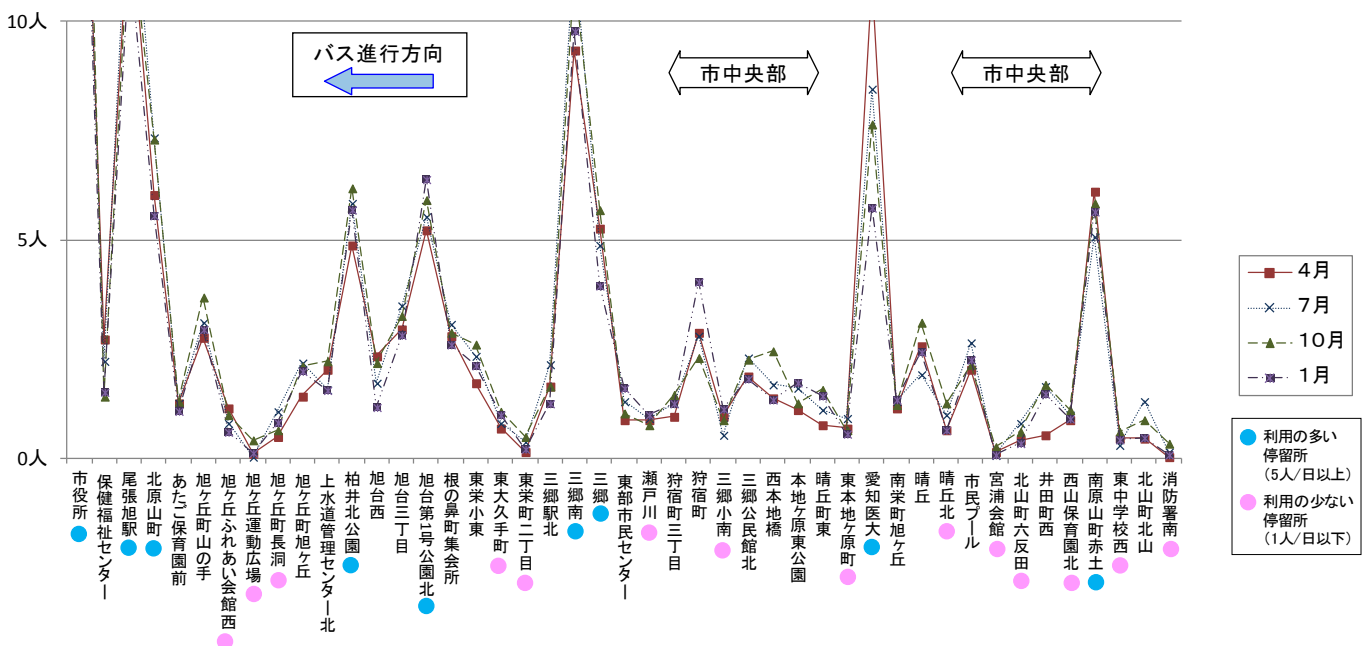
降車の多い停留所（5人/日以上）は、「市役所」「尾張旭駅」「北原山町」「柏井北公園」「旭台第1号公園北」「三郷南」「三郷」「愛知医大」「南原山町赤土」となっています。

一方、降車の少ない停留所（1人/日未満）は、「旭ヶ丘運動広場」「東栄町二丁目」「宮浦会館」「北山町六反田」「東中学校西」「北山町北山」「消防署南」となっており、やはり市中央部での利用数が少ない傾向にあります。

なお、「柏井北公園」の降車が多い理由として、三郷方面から森林公園へ向かう利用者の最寄停留所であることが考えられます。



参考 平成26年度東ルート左回り利用状況【降車】



以上の結果により、西ルート及び東ルートの右回り及び左回りの乗車、降車ともに、その利用状況は、北部地域での利用者数が多く、中央部地域や南部地域での利用者数が比較的少ない状況にあります。

また、平成26年4月～平成27年3月の利用状況と平成27年4月～平成28年3月までの利用状況を比較すると、ルート変更や停留所位置の変更が行われていないため、停留所別ではグラフの形状がほとんど同じであり、バス利用者の移動実態が明確になっています。

▽ 住宅地における停留所の利用については、城山町、平子町、旭ヶ丘町、旭台といった市北部の丘陵地域にある住宅地に加え、南本地ヶ原、緑町緑ヶ丘、本地住宅前といった南部での利用が多いのに対し、井田町、瀬戸川町、北山町といった市中央部の住宅地や西の野町では少数にとどまっています。

市北部及び南部の住宅地から鉄道駅や商業施設のある市中央部へ向かうためあさび一号が利用されていることが分かります。

▽ 「市役所」停留所は、最も利用者数が多い停留所となっています。ここでは、東西ルートでの乗り継ぎが可能なことや、市役所、市民会館、体育館などの施設や尾張旭駅に隣接していることが多い理由と考えられます。

▽ 「旭労災病院」や「愛知医大」などの病院に隣接した停留所の利用は、乗車、降車ともに多く、通院などに市営バスを利用する人にとって重要な停留所となっています。

▽ 大型商業施設内に設置した「三郷南」の利用者数も「右回り」「左回り」とともに多く、こちらも重要な停留所となっています。

(6) ルート別の停留所利用の状況

平成27年4月から平成28年3月までの間の、各ルートにおける停留所の利用状況（1日あたり平均利用者数）の結果は次のとおりとなりました。

○ 西ルート（右回り）

番号	停留所	乗車
1	市役所	23.5
2	旭労災病院	8.6
3	県営住宅	7.0
4	平子町長池上	6.7
5	城山町城山	5.4
6	旭前駅	5.4
7	文化会館	4.9
8	印場駅	3.5
9	東名西公園	3.4
10	西部浄化センター	3.4
11	旭前駅	3.3
12	平子町中通	3.1
13	桜ヶ丘町一丁目	3.0
14	北本地ヶ原町	2.7
15	城山小前	2.7
16	小幡緑地東園	2.7
17	城前町茅池	2.4
18	本地住宅前	2.3
19	晴丘	2.2
20	長池北	2.1
21	霞ヶ丘町南	2.0
22	労災病院口	2.0
23	桜ヶ丘町三丁目	1.9
24	二反田公園東	1.9
25	長坂町西	1.8
26	南本地ヶ原町	1.8
27	平子公民館	1.4
28	緑町緑ヶ丘	1.4
29	どうだん亭	1.3
30	南新町中畑	1.3
31	城山公園	1.2
32	瑞鳳橋	1.1
33	東山町	1.1
34	白鳳町一丁目	1.1
35	本地住宅南	1.0
36	庄南町	0.9
37	西山町南	0.8
38	本地原小	0.8
39	本地ヶ原	0.7
40	印場橋南	0.7
41	新池交流館	0.7
42	渋川福祉センター西	0.6
43	吉岡公園南	0.6
44	東印場町二反田	0.6
45	旭野高東	0.6
46	西中北交差点	0.5
47	名古屋産業大前	0.4
48	旭前駅北	0.4
49	西の野町	0.2
50	保健福祉センター	0.1
51	尾張旭駅	0.1

番号	停留所	降車
1	市役所	28.7
2	尾張旭駅	10.9
3	旭労災病院	8.4
4	旭前駅	5.2
5	緑町緑ヶ丘	5.2
6	本地住宅前	3.9
7	印場駅	3.8
8	旭前駅	3.7
9	南本地ヶ原町	3.6
10	庄南町	3.1
11	本地原小	3.0
12	県営住宅	3.0
13	南新町中畑	2.9
14	晴丘	2.6
15	印場橋南	2.5
16	平子町長池上	2.5
17	長坂町西	2.1
18	西部浄化センター	2.0
19	渋川福祉センター西	1.9
20	城山町城山	1.8
21	保健福祉センター	1.7
22	城前町茅池	1.7
23	本地住宅南	1.6
24	桜ヶ丘町一丁目	1.5
25	新池交流館	1.5
26	平子町中通	1.3
27	文化会館	1.2
28	小幡緑地東園	1.2
29	東山町	1.2
30	吉岡公園南	1.1
31	北本地ヶ原町	1.1
32	城山小前	1.1
33	二反田公園東	1.1
34	旭前駅北	1.0
35	西山町南	0.8
36	平子公民館	0.8
37	城山公園	0.8
38	桜ヶ丘町三丁目	0.7
39	名古屋産業大前	0.7
40	旭野高東	0.6
41	どうだん亭	0.5
42	本地ヶ原	0.5
43	東名西公園	0.4
44	霞ヶ丘町南	0.4
45	労災病院口	0.4
46	西の野町	0.4
47	瑞鳳橋	0.4
48	長池北	0.4
49	東印場町二反田	0.4
50	白鳳町一丁目	0.3
51	西中北交差点	0.3

○ 西ルート（左回り）

番号	停留所	乗車
1	市役所	35.4
2	旭労災病院	7.2
3	本地住宅前	6.5
4	印場駅	5.2
5	緑町緑ヶ丘	4.7
6	南新町中畑	4.5
7	旭前駅	4.5
8	平子町長池上	4.0
9	県営住宅	3.8
10	尾張旭駅	3.5
11	本地原小	3.3
12	南本地ヶ原町	3.0
13	晴丘	2.9
14	長坂町西	2.6
15	西部浄化センター	2.6
16	印場橋南	2.6
17	旭前駅	2.3
18	庄南町	2.1
19	城山町城山	2.0
20	城前町茅池	2.0
21	平子町中通	1.9
22	渋川福祉センター西	1.9
23	吉岡公園南	1.8
24	平子公民館	1.6
25	桜ヶ丘町一丁目	1.5
26	本地住宅南	1.5
27	二反田公園東	1.4
28	小幡緑地東園	1.4
29	北本地ヶ原町	1.3
30	西山町南	1.3
31	城山小前	1.0
32	保健福祉センター	1.0
33	桜ヶ丘町三丁目	0.9
34	新池交流館	0.9
35	長池北	0.8
36	旭前駅北	0.7
37	東印場町二反田	0.6
38	東名西公園	0.6
39	白鳳町一丁目	0.6
40	名古屋産業大前	0.6
41	霞ヶ丘町南	0.6
42	城山公園	0.5
43	瑞鳳橋	0.5
44	どうだん亭	0.5
45	西の野町	0.5
46	労災病院口	0.5
47	東山町	0.5
48	西中北交差点	0.3
49	本地ヶ原	0.3
50	旭野高東	0.3
51	文化会館	0.2

番号	停留所	降車
1	市役所	20.3
2	旭労災病院	8.4
3	旭前駅	7.1
4	県営住宅	6.5
5	文化会館	6.3
6	城山町城山	5.5
7	旭前駅	5.1
8	平子町長池上	4.9
9	南本地ヶ原町	4.7
10	桜ヶ丘町一丁目	4.6
11	印場駅	4.3
12	晴丘	3.8
13	西部浄化センター	3.3
14	労災病院口	2.9
15	城山小前	2.7
16	城前町茅池	2.4
17	平子町中通	2.4
18	北本地ヶ原町	2.4
19	本地住宅南	2.3
20	本地住宅前	2.2
21	東名西公園	2.2
22	長池北	2.0
23	二反田公園東	1.8
24	平子公民館	1.7
25	小幡緑地東園	1.7
26	どうだん亭	1.6
27	渋川福祉センター西	1.6
28	桜ヶ丘町三丁目	1.5
29	霞ヶ丘町南	1.4
30	南新町中畑	1.2
31	城山公園	1.1
32	白鳳町一丁目	1.0
33	東印場町二反田	0.9
34	新池交流館	0.8
35	緑町緑ヶ丘	0.8
36	西山町南	0.8
37	東山町	0.8
38	庄南町	0.7
39	本地原小	0.7
40	旭野高東	0.7
41	本地ヶ原	0.6
42	瑞鳳橋	0.6
43	長坂町西	0.6
44	印場橋南	0.5
45	西中北交差点	0.5
46	保健福祉センター	0.4
47	旭前駅北	0.3
48	名古屋産業大前	0.3
49	吉岡公園南	0.3
50	西の野町	0.2
51	尾張旭駅	0.0

○ 東ルート（右回り）

番号	停留所	乗車
1	市役所	23.4
2	三郷南	13.0
3	北原山町	9.1
4	旭台第1号公園北	7.1
5	愛知医大	6.5
6	柏井北公園	4.9
7	尾張旭駅	4.8
8	旭ヶ丘町山の手	4.6
9	上水道管理センター北	3.8
10	南原山町赤土	3.8
11	旭台3丁目	3.8
12	旭台西	2.7
13	東栄小東	2.5
14	旭ヶ丘町旭ヶ丘	2.4
15	三郷	2.2
16	狩宿町	2.1
17	市民プール	2.0
18	根の鼻町集会所	2.0
19	晴丘	1.9
20	三郷公民館北	1.9
21	晴丘北	1.7
22	井田町西	1.6
23	本地ヶ原東公園	1.6
24	東部市民センター	1.5
25	あたご保育園前	1.4
26	狩宿町三丁目	1.3
27	三郷駅北	1.3
28	南栄町旭ヶ丘	1.3
29	瀬戸川	1.3
30	旭ヶ丘町長洞	1.2
31	西本地橋	1.1
32	西山保育園北	1.0
33	東大久手町	0.9
34	北山町北山	0.9
35	晴丘町東	0.8
36	旭ヶ丘ふれあい会館西	0.7
37	東栄町二丁目	0.7
38	東中学校西	0.7
39	保健福祉センター	0.6
40	三郷小南	0.5
41	東本地ヶ原町	0.5
42	北山町六反田	0.4
43	宮浦会館	0.1
44	消防署南	0.1
45	旭ヶ丘運動広場	0.1

番号	停留所	降車
1	三郷南	20.5
2	市役所	15.0
3	三郷駅北	13.1
4	愛知医大	12.8
5	旭ヶ丘町山の手	8.3
6	南原山町赤土	3.7
7	狩宿町	3.3
8	上水道管理センター北	3.1
9	旭台3丁目	3.0
10	あたご保育園前	2.9
11	旭ヶ丘町旭ヶ丘	2.6
12	旭台第1号公園北	2.5
13	三郷公民館北	2.4
14	旭ヶ丘ふれあい会館西	2.3
15	根の鼻町集会所	2.1
16	狩宿町三丁目	2.0
17	旭ヶ丘町長洞	1.9
18	西本地橋	1.8
19	晴丘	1.7
20	柏井北公園	1.6
21	東栄町二丁目	1.5
22	北原山町	1.5
23	東大久手町	1.3
24	東本地ヶ原町	1.3
25	東栄小東	1.2
26	本地ヶ原東公園	1.2
27	旭台西	1.1
28	井田町西	1.1
29	瀬戸川	1.0
30	晴丘町東	1.0
31	南栄町旭ヶ丘	1.0
32	西山保育園北	0.9
33	東部市民センター	0.9
34	消防署南	0.8
35	三郷小南	0.8
36	東中学校西	0.8
37	北山町北山	0.6
38	晴丘北	0.6
39	北山町六反田	0.4
40	三郷	0.2
41	市民プール	0.2
42	尾張旭駅	0.2
43	宮浦会館	0.1
44	保健福祉センター	0.1
45	旭ヶ丘運動広場	0.1

○ 東ルート（左回り）

番号	停留所	乗車
1	三郷南	24.4
2	市役所	20.4
3	愛知医大	12.8
4	旭ヶ丘町山の手	8.7
5	三郷駅北	7.4
6	上水道管理センター北	4.2
7	狩宿町	3.9
8	あたご保育園前	3.4
9	東栄小東	3.2
10	旭台第1号公園北	3.0
11	西本地橋	2.9
12	柏井北公園	2.8
13	旭ヶ丘町長洞	2.5
14	旭台3丁目	2.5
15	旭ヶ丘町旭ヶ丘	2.5
16	南原山町赤土	2.4
17	三郷公民館北	2.2
18	旭ヶ丘ふれあい会館西	2.2
19	晴丘	2.0
20	本地ヶ原東公園	2.0
21	根の鼻町集会所	1.8
22	狩宿町三丁目	1.6
23	南栄町旭ヶ丘	1.6
24	旭台西	1.5
25	北山町北山	1.4
26	北原山町	1.4
27	晴丘町東	1.4
28	井田町西	1.2
29	東中学校西	1.1
30	西山保育園北	1.1
31	東部市民センター	1.1
32	東大久手町	0.9
33	瀬戸川	0.9
34	東栄町二丁目	0.8
35	東本地ヶ原町	0.7
36	晴丘北	0.6
37	三郷小南	0.6
38	消防署南	0.5
39	三郷	0.4
40	北山町六反田	0.4
41	市民プール	0.3
42	尾張旭駅	0.2
43	宮浦会館	0.2
44	旭ヶ丘運動広場	0.2
45	保健福祉センター	0.1

番号	停留所	降車
1	市役所	19.7
2	尾張旭駅	12.1
3	三郷南	9.8
4	愛知医大	7.0
5	旭台第1号公園北	6.9
6	北原山町	6.7
7	南原山町赤土	6.5
8	柏井北公園	6.2
9	三郷	5.1
10	根の鼻町集会所	3.4
11	旭台3丁目	3.3
12	旭ヶ丘町山の手	3.1
13	晴丘	3.0
14	東栄小東	2.8
15	狩宿町	2.5
16	旭台西	2.3
17	旭ヶ丘町旭ヶ丘	2.3
18	上水道管理センター北	2.2
19	西本地橋	1.8
20	三郷駅北	1.8
21	三郷公民館北	1.8
22	市民プール	1.7
23	晴丘北	1.7
24	井田町西	1.7
25	本地ヶ原東公園	1.6
26	あたご保育園前	1.6
27	東部市民センター	1.5
28	三郷小南	1.5
29	南栄町旭ヶ丘	1.5
30	西山保育園北	1.3
31	晴丘町東	1.2
32	狩宿町三丁目	1.2
33	東大久手町	1.2
34	旭ヶ丘ふれあい会館西	1.1
35	保健福祉センター	1.1
36	旭ヶ丘町長洞	1.1
37	北山町北山	0.9
38	瀬戸川	0.9
39	東本地ヶ原町	0.8
40	東栄町二丁目	0.6
41	東中学校西	0.5
42	北山町六反田	0.5
43	消防署南	0.2
44	宮浦会館	0.1
45	旭ヶ丘運動広場	0.1

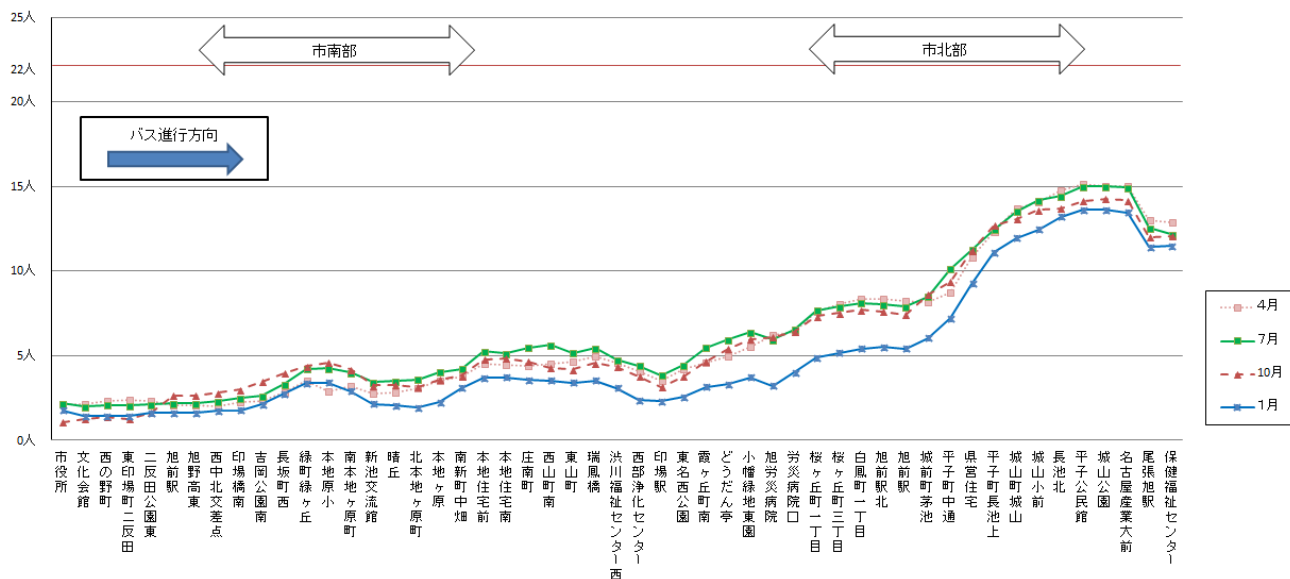
(7) 平日第2便の平均乗車人員の状況

平成27年4月、7月、10月及び平成28年1月における、西ルート及び東ルートの便別利用者が最も多い平日第2便の平均乗車人員を、それぞれグラフで示しました。なお、グラフの数値はバスが各停留所を発車した際のバス車内の平均乗車人員を表し、赤線はバス車両の定員（西ルートは22人、東ルートは26人）を表しております。

ア 西ルート（右回り）

「県営住宅」～「市役所」間で平均乗車人員が多くなっており、市北部の住宅地から「尾張旭駅」や「市役所」への利用が多い傾向にあります。

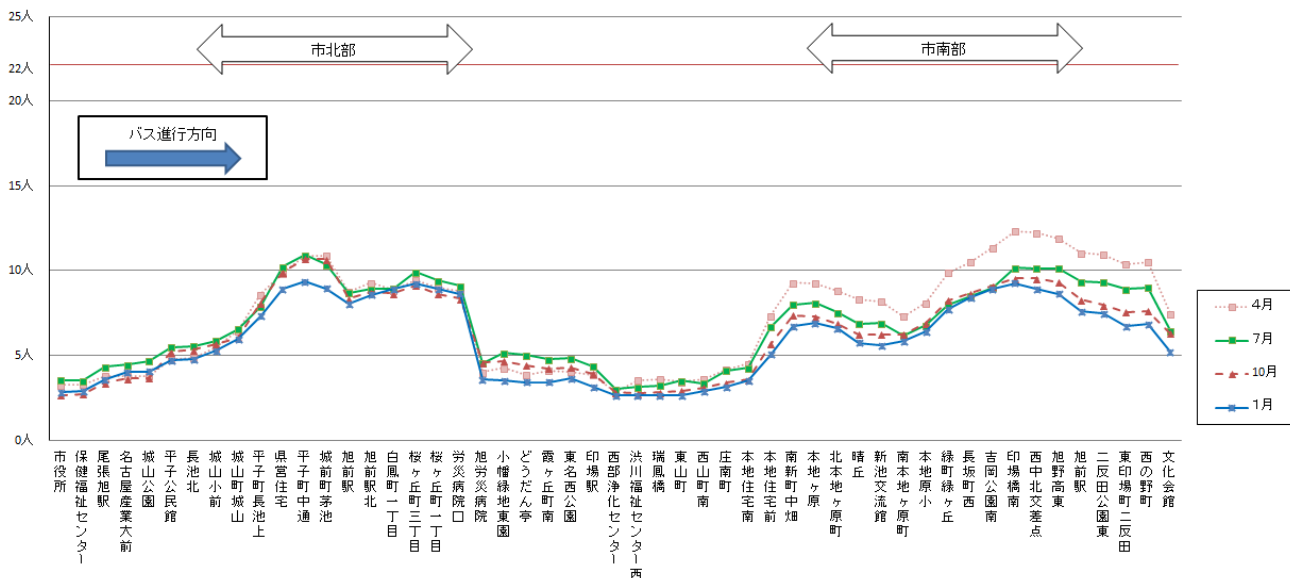
平日第2便の乗車人員<西ルート(右回り)>



イ 西ルート（左回り）

「平子町長池上」～「旭労災病院」間で平均乗車人員が多くなっており、市北部の住宅地から「旭労災病院」への利用が多い傾向にあります。

また、「本地住宅前」～「文化会館」間も乗車人員が多く、市南部から「市役所」への利用もある状況です。

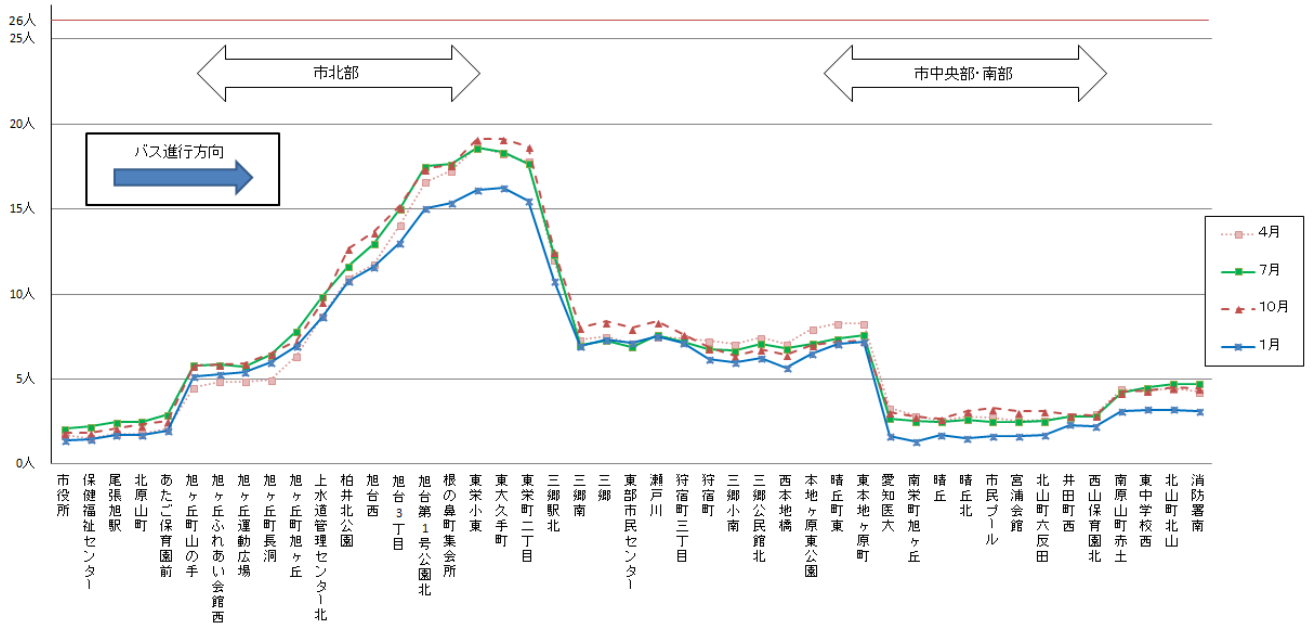


ウ 東ルート（右回り）

「旭ヶ丘町旭ヶ丘」～「三郷南」間で平均乗車人員が多くなっており、市北部の住宅地から「三郷駅北」や「三郷南」「愛知医大」への利用が多い傾向にあります。

特に「旭台第1号公園北」～「三郷駅北」間ではどの月も平均乗車人員が15人を超えていることから、積み残し発生の可能性は高いことが考えられます。

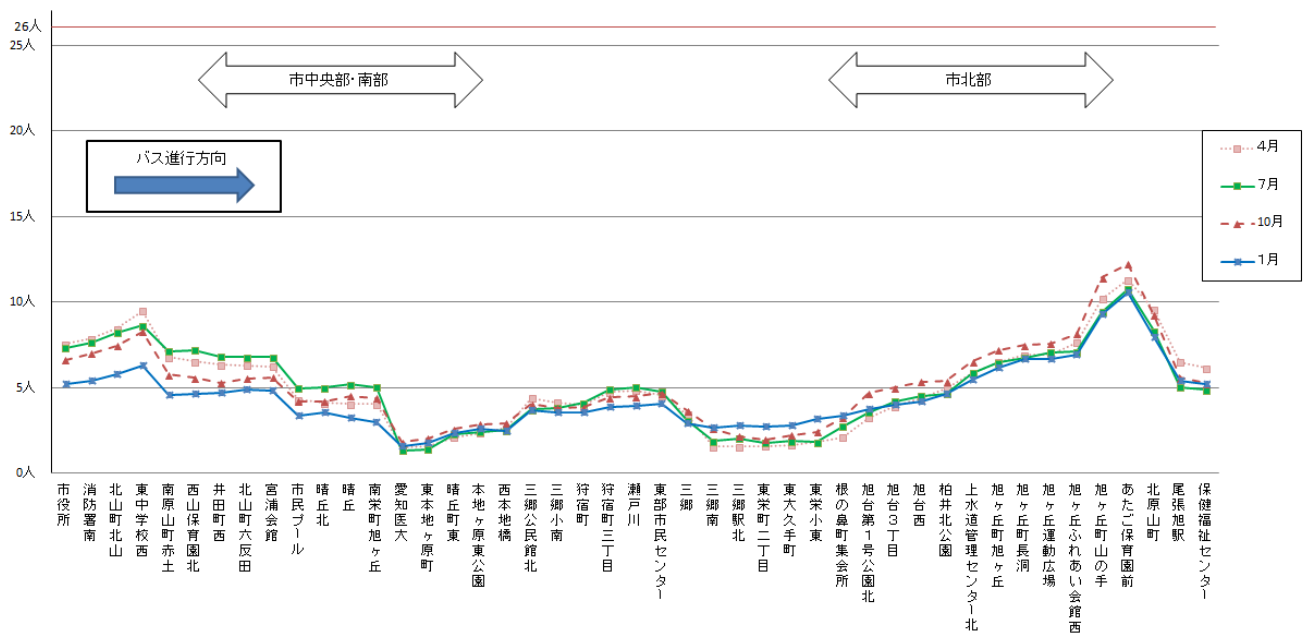
平日第2便の乗車人員<東ルート(右回り)>



エ 東ルート（左回り）

「市役所」～「愛知医大」間と「旭ヶ丘町山の手」～「尾張旭駅」間で平均乗車人員が多くなっており、市中央部・南部から「愛知医大」や市北部の住宅地から「尾張旭駅」「市役所」への利用が多い傾向にあります。

平日第2便の乗車人員<東ルート(左回り)>



以上の結果により、西ルート及び東ルートの便別利用者数が最も多い平日第2便の平均乗車人員は、北部地域からの利用者数が多く、北部地域から市中央部や主要な病院までの区間は乗車人員が多い状況にあります。また、平成27年4月、7月、10月及び平成28年1月のグラフの形状がほぼ同じであることから、平均乗車人員の傾向はどの時期も同じであると言えます。

▽ どのルートでも北部地域の住宅地における停留所から多くの利用者が乗車し、徐々に平均乗車人員が多くなっています。

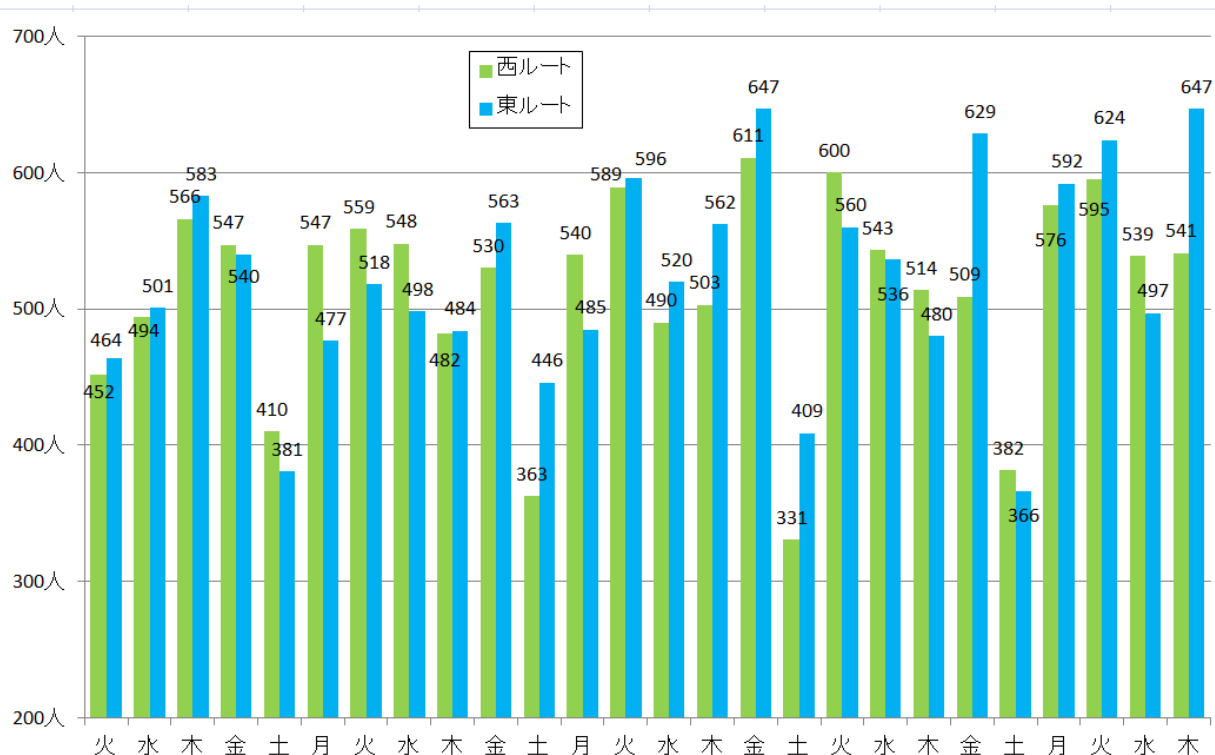
▽ 「市役所」「尾張旭駅」「旭労災病院」「愛知医大」「三郷駅北」「三郷南」などの停留所で多くの利用者が降車し、各停留所を過ぎてからは平均乗車人員が少なくなっています。

▽ 特に東ルートの右回りの「旭台第1号公園北」～「三郷駅北」間では平均乗車人員が15人を超え、定員の26人に近づいていることから、積み残しが発生する可能性が高い状況であると考えられます。

(8) 曜日別利用者数の状況

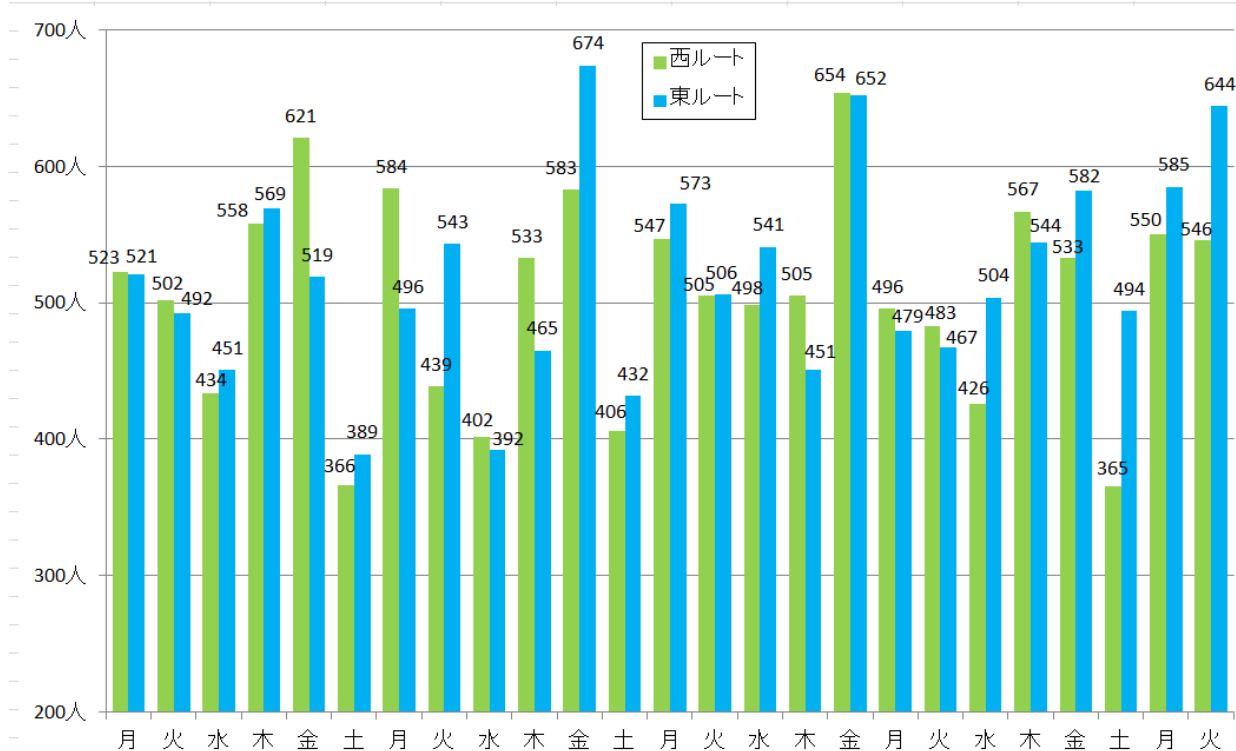
平成28年3月の1か月間の利用者数をグラフで示しました。

平日に比べ土曜日の利用者数が少なくなっています。これは、病院の休みや家族での外出機会がその要因の一つと考えられます。



※西ルート、東ルートの乗車降車の合計値にて作成

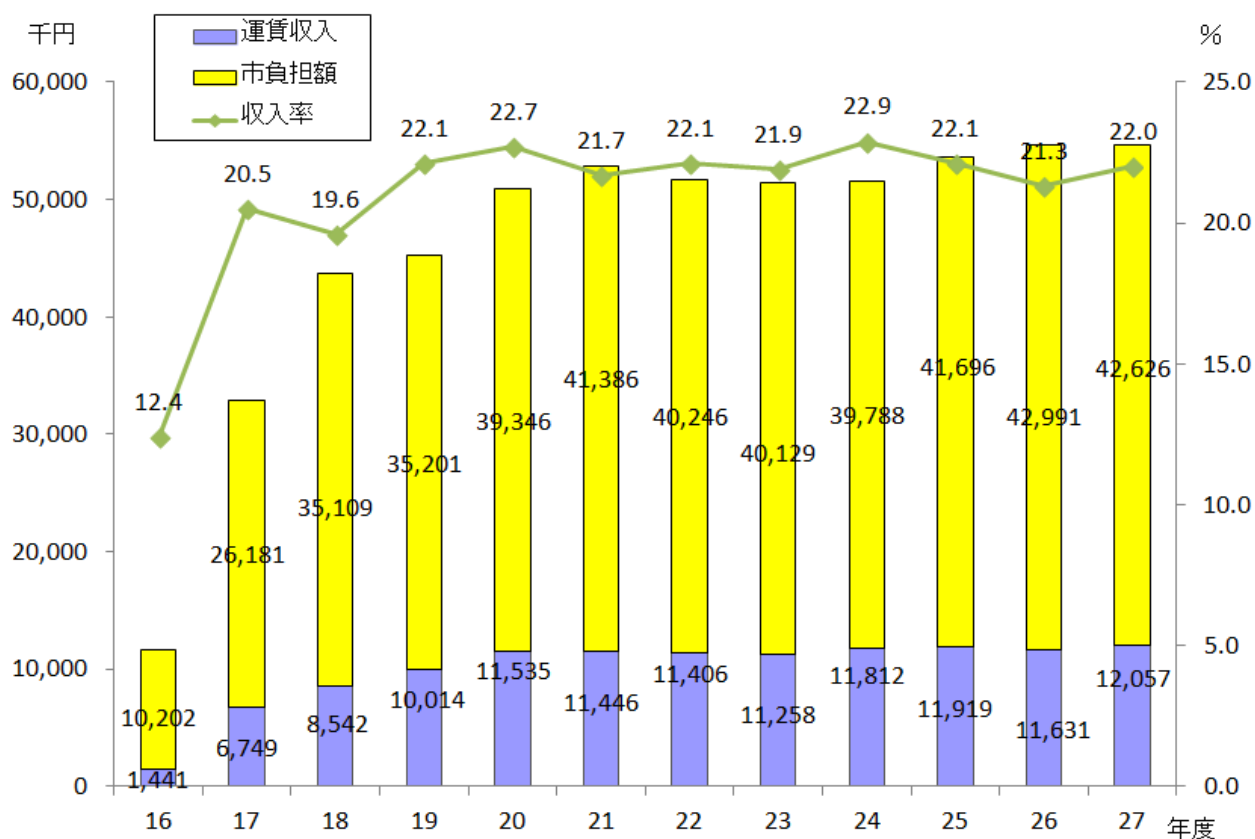
参考 曜日別利用状況【平成27年3月】



4 市営バスの運行経費の状況

(1) 市営バスの運行経費の状況

試験運行の開始以降、ルートの実質やマイクロバスの導入などを進めた結果、平成20年度までは運行経費、利用者数、運賃収入、収入率は年々増加傾向にありましたが、平成21年度以降、収入率においては22%前後を推移しています。



- ※ 16年度は12月からの4か月間（3ルート、ジャンボタクシーでの運行）
- ※ 18年度は8月から4ルートでの運行、マイクロバスでの無償運行等を実施
- ※ 19年度は12月から2台をマイクロバスに変えて運行
- ※ 20年度は10月から2ルート循環型に変更して運行
- ※ 20年度からは、指定管理者制度を導入。また障がい者本人の運賃を無料化
- ※ 23年度からは、市負担額に東ルート運行経費に対する国庫補助を含む

参考 利用者一人当たりの運行経費推移

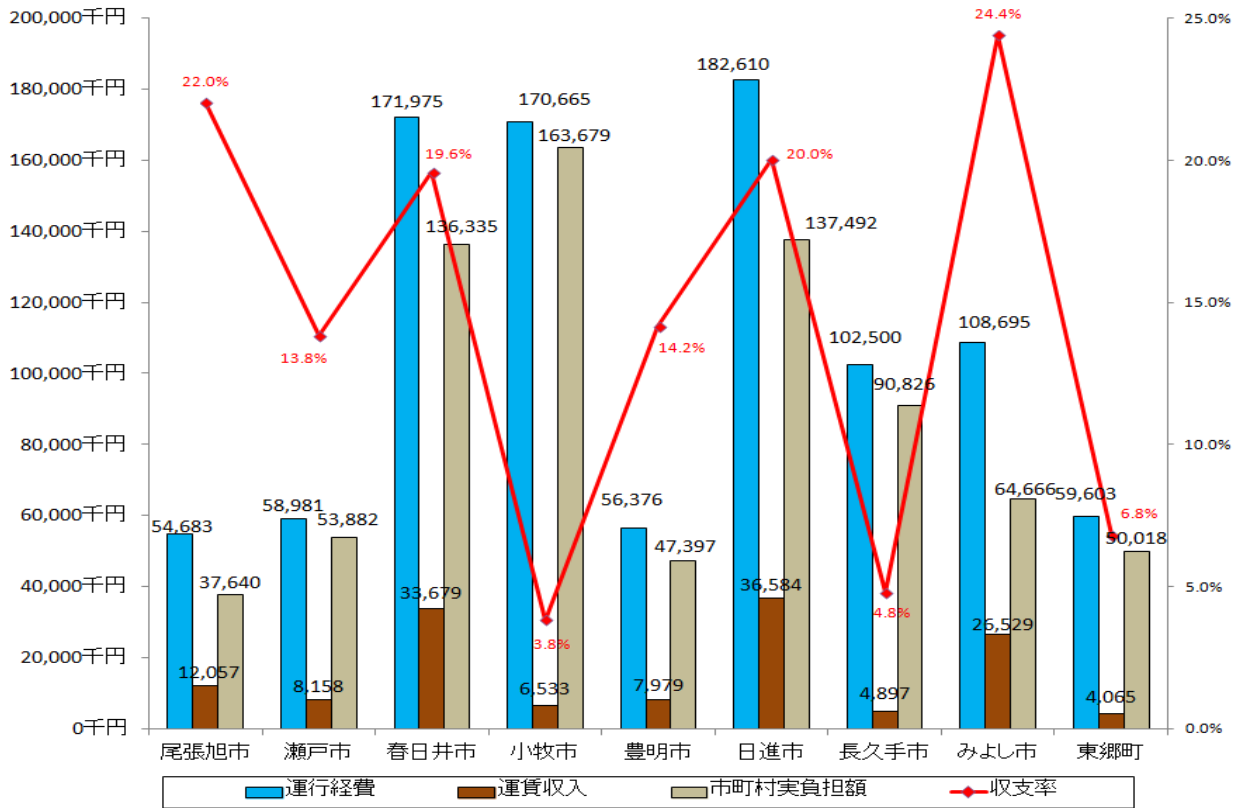
単位：人、円

年度	H16	H17	H18	H19	H20	H21
利用者数	14,995	70,540	86,793	107,263	132,653	135,625
利用者一人当たりの運行経費	776	467	503	422	384	390
年度	H22	H23	H24	H25	H26	H27
利用者数	138,273	141,731	148,868	153,553	152,693	157,319
利用者一人当たりの運行経費	374	363	347	349	358	348

(2) 近隣市町のコミュニティバス運行経費等の状況

近隣市町のコミュニティバスにおける平成27年度の運行経費などの状況は、次のとおりです。

○ 運行経費等の状況



※ 「愛知県内の市町村における自主運行バス等の運行状況について（県地域振興部交通対策課）」より

注) ・各市町により、基本運賃や運賃特例などに違いがあるため、一概に数値のみの比較は難しい。

- ・東郷町は、市町村が自ら有償運送を行っているもの（道路運送法79条登録（旧80条許可）による運行）であり、その他の市町は、市町村が主体となって乗合事業者に運行を委託しているもの（道路運送法4条許可による運行）
- ・国県からの補助を含む場合、運行経費と運賃収入+市町村実負担額が一致しない。

○ 年間利用者数

単位：人



○ 近隣市町のコミュニティバスの内容（平成27年度）

市町村名	バス等の愛称	運行目的	委託事業者名
瀬戸市	瀬戸市コミュニティバス	交通空白地区の解消	瀬戸自動車運送㈱
春日井市	かすがいシティバス (はあとふるライナー)	公共交通空白地域の解消 昼間帯の移動手段の確保による日常生活の利便性向上	名鉄バス㈱
小牧市	こまき巡回バス	交通空白地区の解消 公共施設の利用促進	あおい交通(株)
豊明市	ひまわりバス	交通弱者の社会参加促進 公共施設への利便性の向上 交通空白地区の解消	名鉄バス㈱
日進市	くるりんばす	公共交通空白地域の解消 市民の社会参加・交流の促進	名鉄バス㈱
長久手市	Nーバス	交通空白地区の解消 公共施設への利便性向上 交通弱者の社会参加促進 子育て支援 通勤・通学者の朝夕の利便性の向上	名鉄バス㈱
みよし市	さんさんバス	交通空白地区の解消 交通弱者の社会参加支援 地域間の交流促進	愛知つばめ交通㈱
東郷町	じゅんかい君	交通空白地区の解消 町内の活性化	豊栄交通(株)
尾張旭市	あさび一号	交通空白地区の解消	豊栄交通(株)

市町村名	路線数	使用車両台数	基本運行日	1日運行回数	基本運賃	運賃特例
瀬戸市	8本	5台	毎日 (年末年始を除く) 外	6回 外	100円	障害者は半額、身体障害者手帳等所持者は、付添も半額 1歳未満児無料 1歳以上6歳未満児は6歳以上に同伴同伴される場合無料(2名まで)
春日井市	4本	8台	毎日 (年末年始を除く)	15回 外	200円	未就学児、障がい者(手帳所持者)とその付添人1名まで無料 小人、運転免許自主返納者カード、高齢者カード、マタニティカード所持者所持者100円
小牧市	8本	8台	毎日 (年末年始を除く)	10回 外	200円	乗継自由。小学生半額。幼児(小学生未満)、65歳以上無料。 ※身体障害者手帳等を提示すれば本人及び付添1名無料。 ※ピーチバス等の定期券を提示すれば無料。
豊明市	7本	3台	毎日 (年末年始を除く)	5回 外	100円	市内在住で中学生以下・身体障害者手帳等を携帯している方と付き添いの方1名無料
日進市	8本	8台	毎日 (年末年始を除く)	11回 外	100円 外	他のコースへ当日乗り継ぐ場合、1回のみ100円割引。中学生以下の子ども、身体障害者手帳等所持者、介護保険法による介護認定を受けている者及びその付き添い1名は無料。運転免許自主返納者は3ヵ月間無料。
長久手市	10本	5台	毎日 (年末年始を除く)	16回 外	100円	中学生以下、未就学児1人につき付添1人、妊婦、身体障害者手帳等所有者と付添1名、市発行「あったかあど」携帯者(高齢者・障害者用)無料
みよし市	3本	7台	毎日 (年中無休)	12.5回 外	100円	未就学児、介助者、バス乗合タクシー間の乗り継ぎ無料
東郷町	4本	4台	毎日 (年末年始を除く)	12回 外	100円	障害者と付添1人、中学生以下の子ども、65歳以上無料
尾張旭市	2本	4台	月～土 (年末年始、祝日は運休)	6回	100円	未就学児及び障害者無料(障害者の付添も1人まで無料)

5 市営バス運行に対する市民意識

より利用しやすい市営バスの運行を行うためには、市営バスの利用状況の調査・分析を行うとともに、市民ニーズや意見・提言等を把握して、現在の運行内容における課題・問題点を整理することが必要であると考えられます。

○ 利用者アンケート

利用者からの意見収集により、市営バス運行に係る利用者の属性と利用状況を明らかにし、運行の課題等を抽出することを目的として、下記のとおり利用者アンケートを実施しました。

1 調査期日

平成27年12月3日（木）（天候：雨のち曇り）

【(参考)平成26年度調査】

平成26年12月4日（木）（天候：晴）

2 調査方法

調査員（市都市計画課、豊栄交通株式会社）がバスに同乗し、調査期日の利用者に対して、アンケート調査表（様式参照）を配布し、車内に設置したアンケート回収箱により回収しました。

（回収期間：12月3日～18日）

3 回収結果

(1) 西ルート（右回り）	配布枚数	44 枚	回収枚数	35 枚
(2) 西ルート（左回り）	配布枚数	77 枚	回収枚数	67 枚
(3) 東ルート（右回り）	配布枚数	45 枚	回収枚数	45 枚
(4) 東ルート（左回り）	配布枚数	58 枚	回収枚数	48 枚
合計	配布枚数	224 枚	回収枚数	195 枚 (回収率 87.1%)

尾張旭市営バス あさびー号 利用者アンケート調査

このアンケートは、尾張旭市営バス あさびー号に関して、利用者の皆さまのご意見をお聞きし、今後の運行改善の参考とするために尾張旭市が実施するものです。設問が多く大変お手数をおかけしますが、ぜひご協力をお願い申し上げます。 市役所都市計画課

（当てはまる番号に○を付けてください。また、設問によっては言葉でお答え下さい。）

Q.あなたのことについてお聞きします。

①	年 齢	1 80歳以上 2 70歳代 3 60歳代 4 50歳代 5 40歳代 6 30歳代 7 20歳代 8 20歳未満
②	性 別	1 男性 2 女性
③	職 業	1 自営業 2 会社員 3 公務員 4 パート・アルバイト 5 主婦（夫） 6 学生 7 無職 8 その他（ ）
④	郵便番号	_____ - _____ ※あなたのお住まいについて、郵便番号を記入してください。
⑤	自ら運転して使える交通手段	1 ない 2 自転車 3 バイク 4 自動車 ※該当する項目全てに○をつけてください。
⑥	尾張旭市営バスの利用回数	1 ほとんど毎日 2 週3～4回程度 3 週1～2回程度 4 月1～3回程度 5 はじめての利用
⑦	ご自宅からバス停までの時間	1 歩いて3分以内 2 歩いて3～5分 3 歩いて5～7分 4 歩いて7～10分 5 歩いて10分以上

Q.利用する目的・理由などについてお聞きします。

⑧	利用する目的は何か (2つまで)	1 買い物・飲食 2 レジャー・娯楽 3 通院 4 市役所への用事（会議を含む） 5 通勤・通学 6 仕事上での移動 7 試乗 8 その他（ ）
⑨	利用する理由は何ですか (2つまで)	1 他に交通手段がないから 2 運賃が安く経済的だから 3 利用時間がよかったから 4 出発地・目的地が停留所の近くだから 5 市営バス「あさびー号」に興味があったから 6 自動車で外出するより便利だから 7 飲酒の機会があったから 8 その他（ ）
⑩	あさびー号の運行によって外出回数は	1 増えた 2 あまり変わらない 3 減った

Q.あなたがどのようにあさびー号を利用しているのかお聞きします。

⑪	本日の乗降内容について	乗車した停留所 _____ ⇒ 降車した(する)停留所 _____ ※停留所番号のみの記入でも結構です。	降車後、東ルートへの乗り換え 1 する 2 しない 他の電車・バスへの乗換 1 する 2 しない
⑫	本日の目的地について	_____	※ 本日の目的地について差し支えなければお答えください。 例) 市役所、〇〇ストア〇〇店、〇〇病院 地名、駅名等でも結構です。
⑬	本日の、お出かけとお帰りの交通手段をお答えください。(それぞれ2つまで)	お出かけ ⇒ { 1 あさびー号 2 自動車 3 タクシー 4 自転車 5 電車 6 徒歩 7 あさびー号以外のバス 8 その他 } お帰り ⇒ { 1 あさびー号 2 自動車 3 タクシー 4 自転車 5 電車 6 徒歩 7 あさびー号以外のバス 8 その他 }	
⑭	普段よく利用するバス停区間について2つまでお答えください。	一番よく利用する区間（バス停名： _____）～（バス停名： _____） 次によく利用する区間（バス停名： _____）～（バス停名： _____）	

Q. 市営バスの運行の内容について項目ごとに5段階評価でお答えください。

4. 5. を選択されたかたは具体的に何が悪いのかご記入ください。

a	ルートについて	1 とてもよい 2 まあよい 3 どちらともいえない 4 あまりよくない 5 かなり悪い → (具体的には? :)
b	運行時間帯について	1 とてもよい 2 まあよい 3 どちらともいえない 4 あまりよくない 5 かなり悪い → (具体的には? :)
c	運行ダイヤの間隔について	1 とてもよい 2 まあよい 3 どちらともいえない 4 あまりよくない 5 かなり悪い → (具体的には? :)
d	車の乗り心地などについて	1 とてもよい 2 まあよい 3 どちらともいえない 4 あまりよくない 5 かなり悪い → (具体的には? :)
e	停留所の位置について	1 とてもよい 2 まあよい 3 どちらともいえない 4 あまりよくない 5 かなり悪い → (具体的には? :)
f	停留所の間隔について	1 とてもよい 2 まあよい 3 どちらともいえない 4 あまりよくない 5 かなり悪い → (具体的には? :)
g	運転手の対応について	1 とてもよい 2 まあよい 3 どちらともいえない 4 あまりよくない 5 かなり悪い → (具体的には? :)
h	全体としてどう思われますか	1 とてもよい 2 まあよい 3 どちらともいえない 4 あまりよくない 5 かなり悪い → (具体的には? :)

Q.最後に、あさび一号の利用促進についてお聞きします。

⑮	あさび一号をたくさんのかたに利用していただくためのアイデアがあれば教えてください。
---	---	----------------------------------

その他感想、意見などをご自由にご記入ください。

.....

ご協力ありがとうございました。

※ このアンケート用紙はご記入後、12月18日(金)までに車内の回収箱にご投函いただくか、市役所都市計画課へご持参いただけますと幸いです。

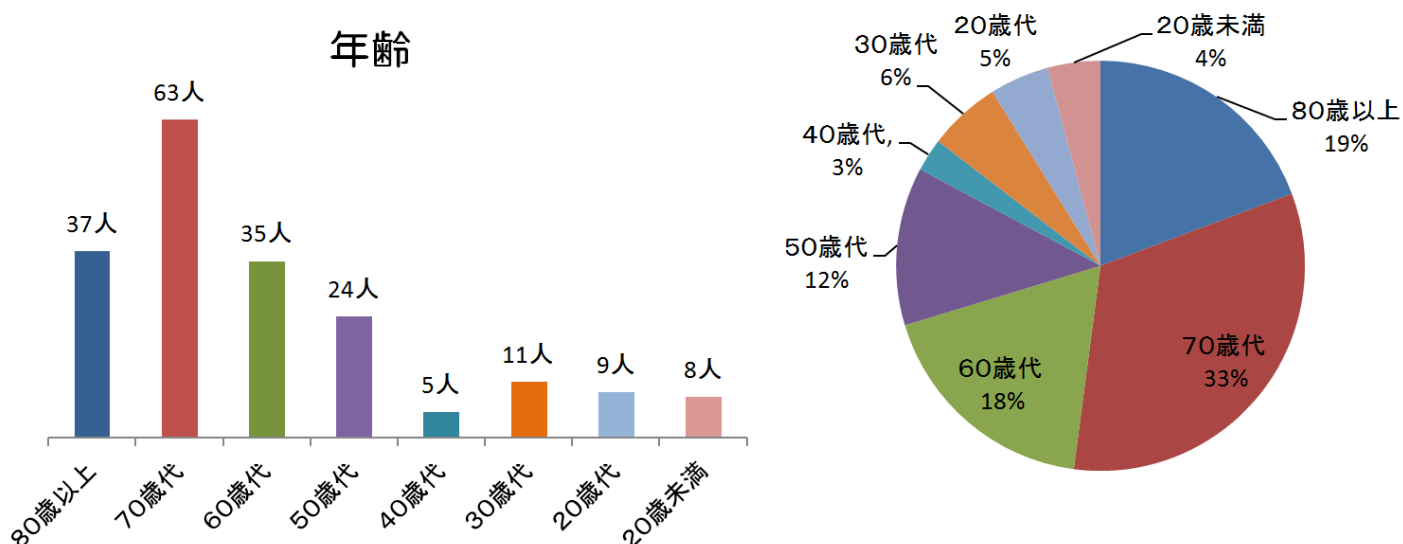
※ 回答いただいた結果は、今後の運行改善の参考とする以外には使用しません。

平成27年度利用者アンケート調査集計結果

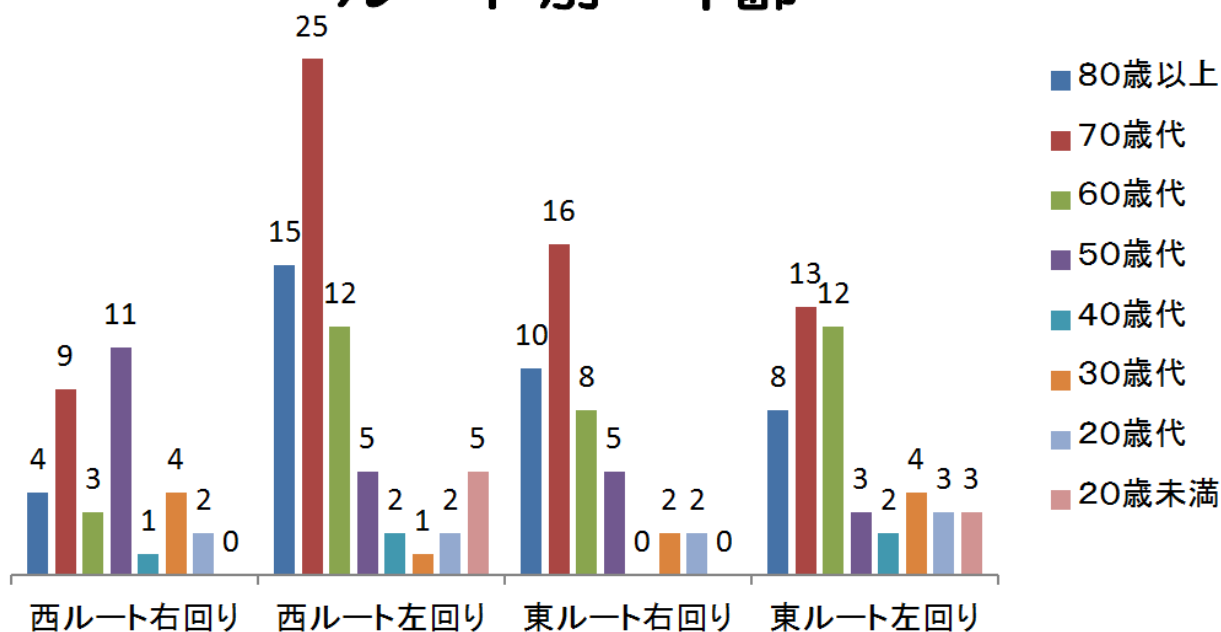
1 集計結果

Q. あなたのことについてお聞きします。

①年齢

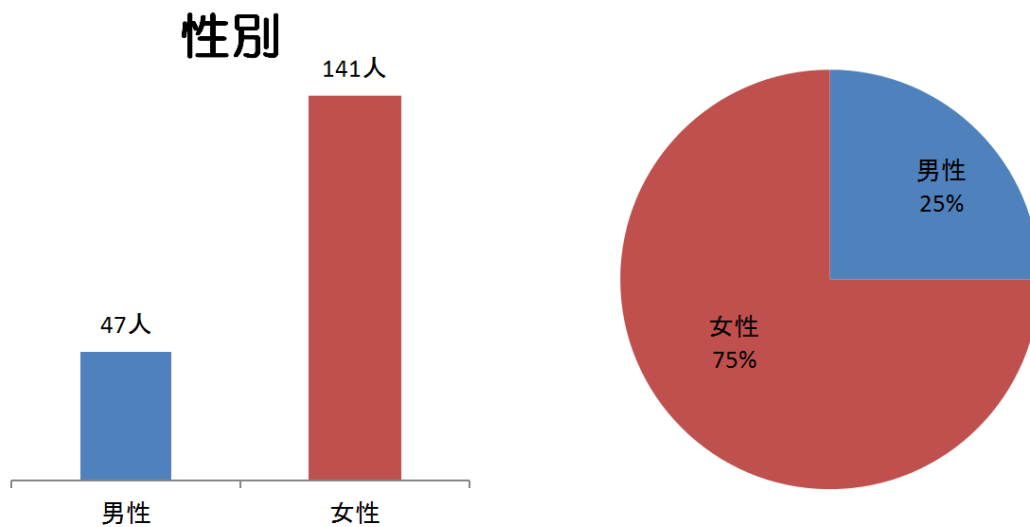


ルート別 年齢



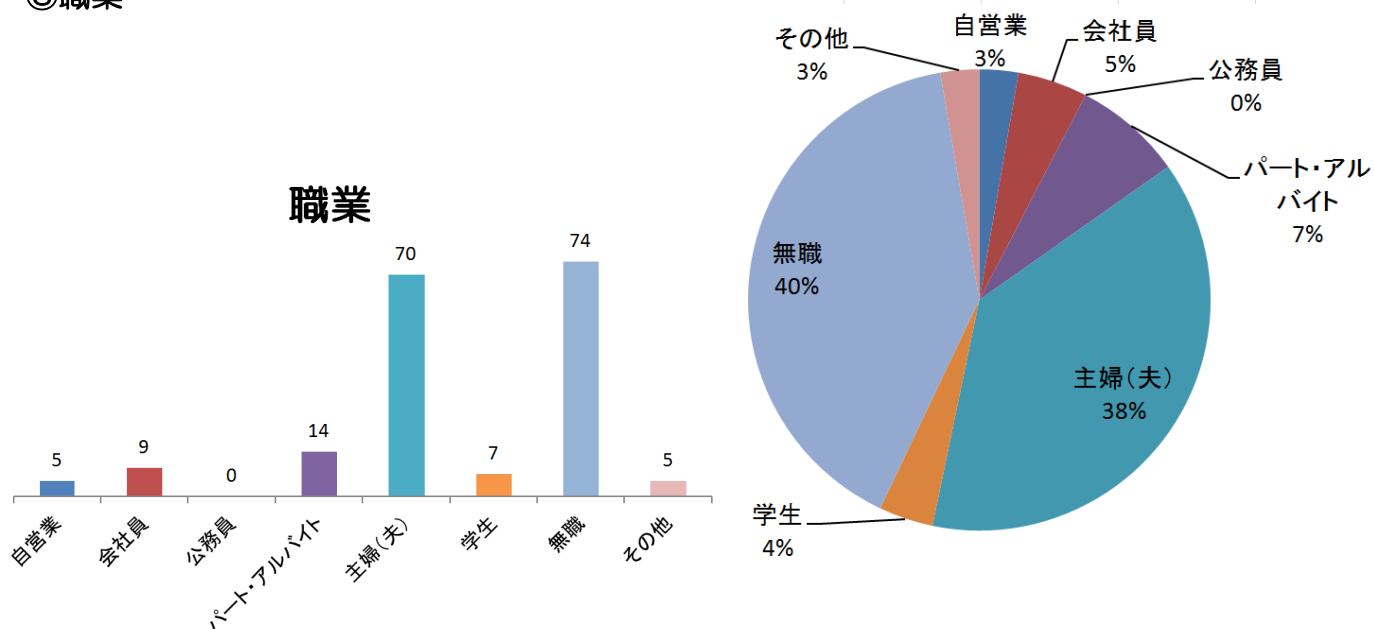
- ・年齢について、「60歳代」以上の人が約7割となっている。
- ・ルート別の年齢では、どのルートでも「70歳代」の利用者が最も多くなっている。

②性別



・性別について、女性の利用者が75%となっており、昨年度と同程度である。

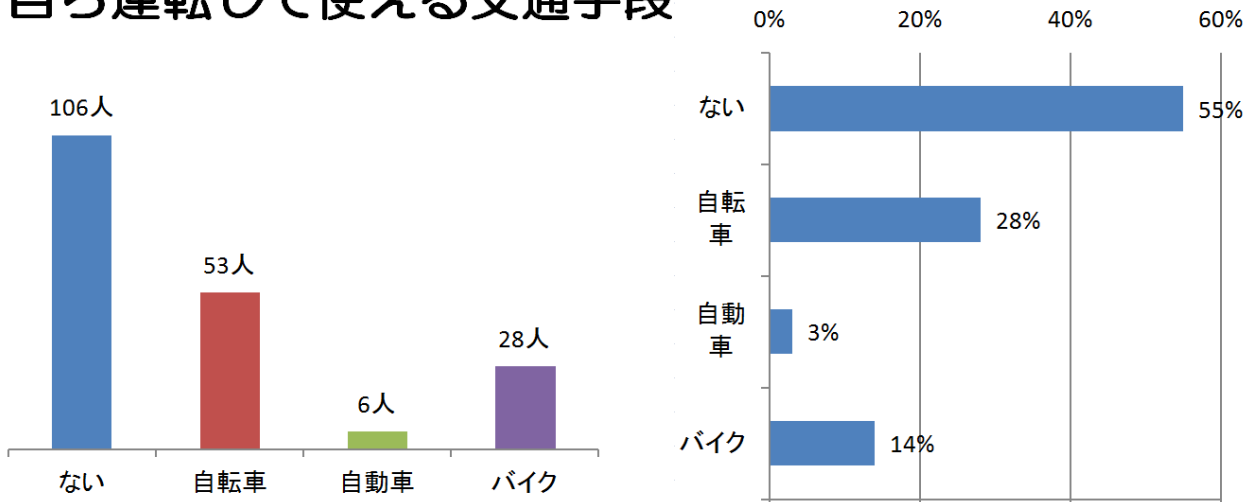
③職業



- ・職業について、「主婦(夫)」または「無職」と答えた人の割合が合わせて約8割となっている。
- ・「学生」の割合が4%であった。アンケート実施日は雨が降っていたため、鉄道駅から自宅近くまであさび一号を利用したものと思われる。

⑤自ら運転して使える交通手段（複数回答可）

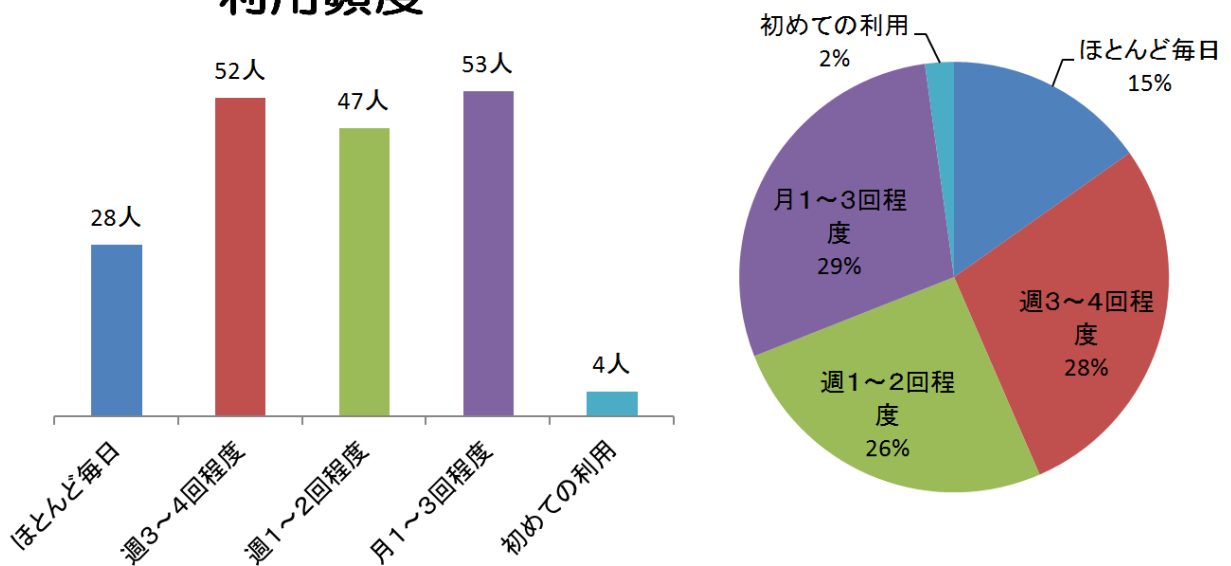
自ら運転して使える交通手段



- ・自ら運転して使える交通手段について、「ない」と答えた人が昨年度より6ポイント増えて55%となっている。
- ・一方で、「自動車」を運転することが可能な人は、3%で昨年度より5ポイント減っている。

⑥尾張旭市営バスの利用回数

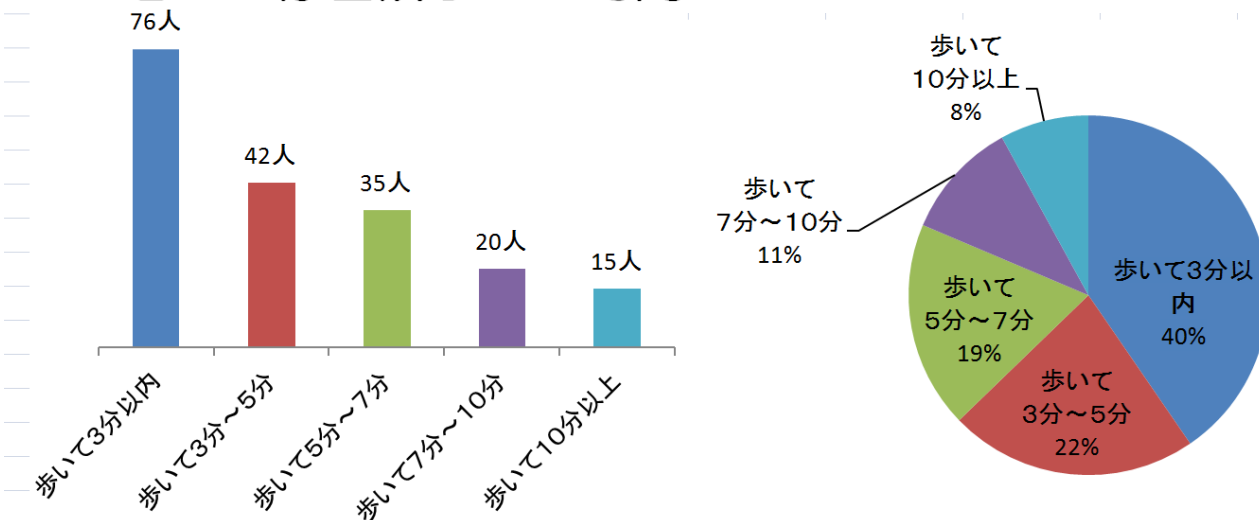
利用頻度



- ・「週に1~2回程度」、「月に1~3回程度」、「週に3~4回程度」の割合が同程度となっており、昨年度と同じ傾向である。
- ・「ほとんど毎日」利用している人が15%となり、昨年度より5ポイント増えている。
- ・利用回数については、「初めて」の利用と答えた人は、わずか2%となっている。

⑦自宅からバス停までの時間

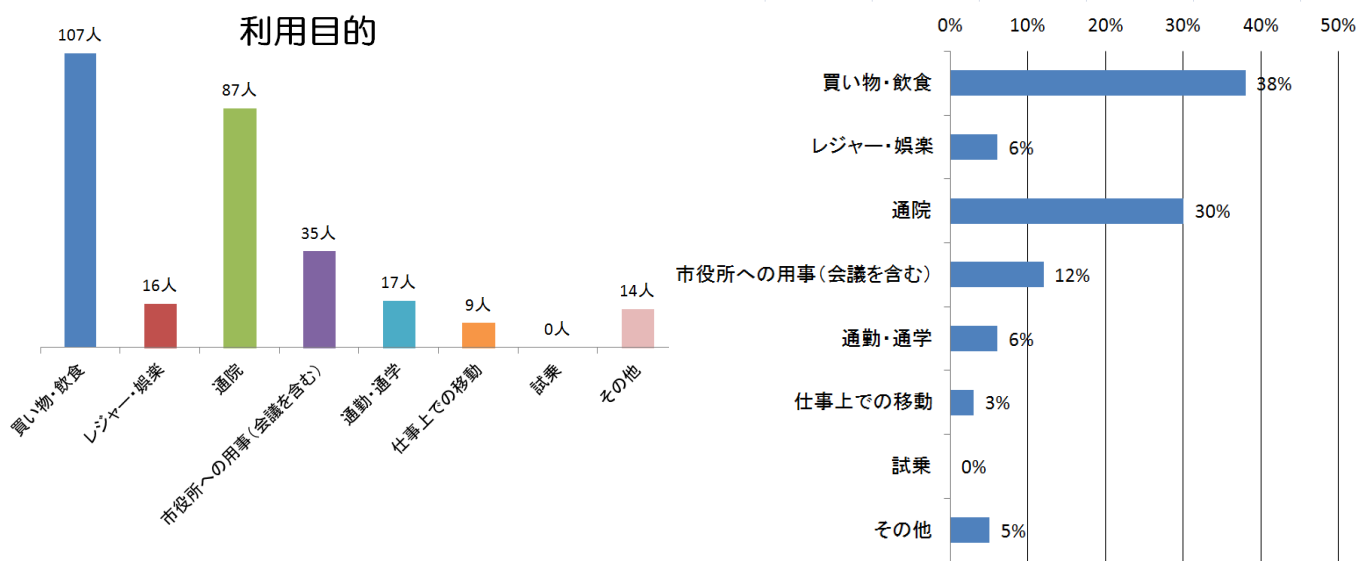
自宅から停留所までの時間



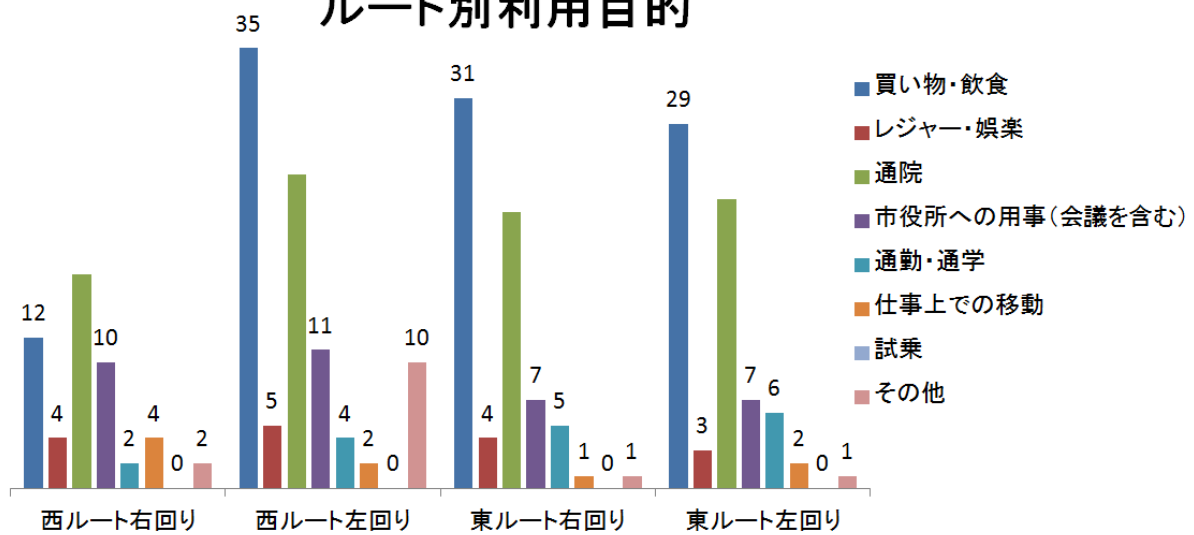
・自宅から停留所までの時間については、「歩いて3分以内」と答えた人が約4割であり最も多く、続いて、「歩いて3分～5分」が約2割となっており、合わせると6割を超えている。

Q. あなたが、あさぴー号を利用する目的・理由などについてお聞きします。

⑧利用する目的 (2つまで選択可)

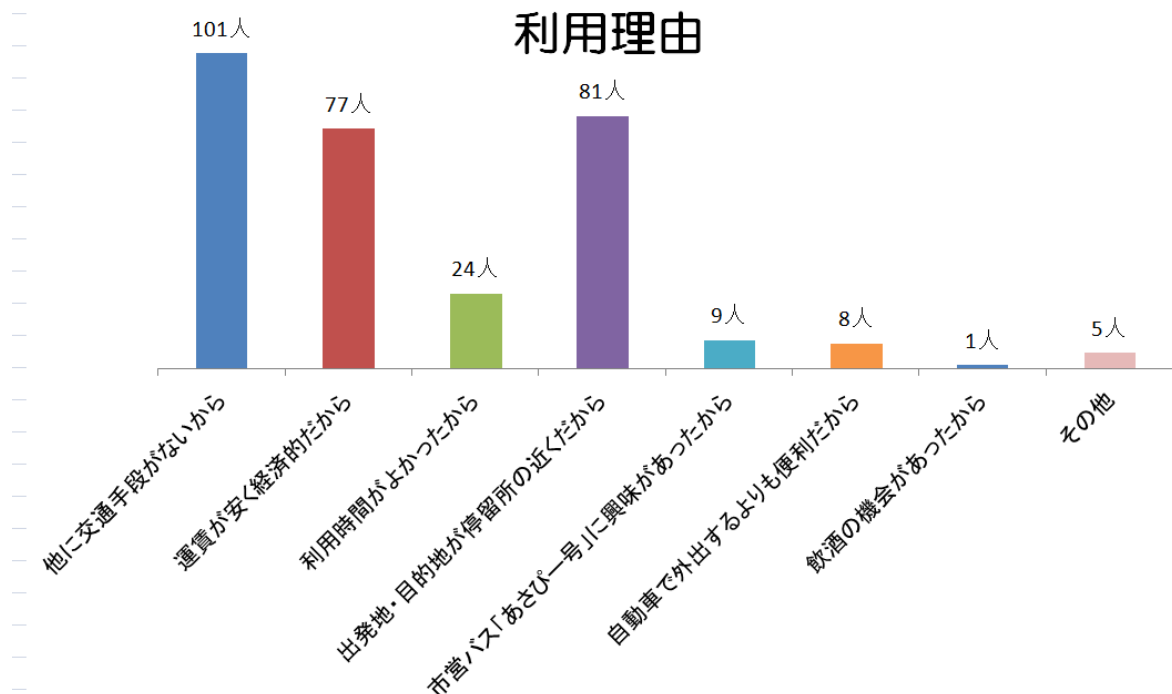


ルート別利用目的



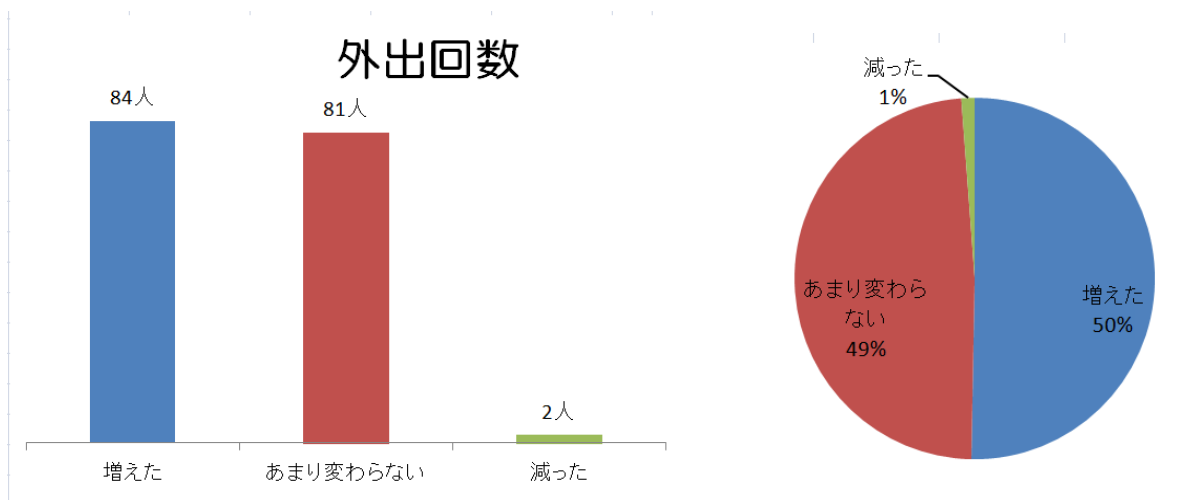
- ・利用目的については、「買い物・飲食」と答えた人が4割、「通院」と答えた人が3割となっている。
- ・西ルート右回りでは「通院」が最も多く、その他のルートでは「買い物・飲食」のためのバス利用が最も多かった。

◎利用する理由（2つまで選択可）



- ・利用理由は、「他に交通手段がないから」、「出発地・目的地が停留所の近くだから」、「運賃が安く経済的だから」と答えた人が特に多かった。
- ・一方で、「自動車で外出するよりも便利だから」などの答えは少なかった。

⑩あさび一号の運行による外出回数の変化

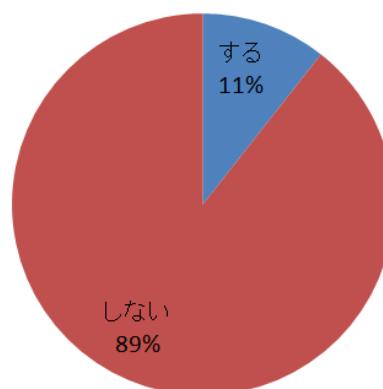
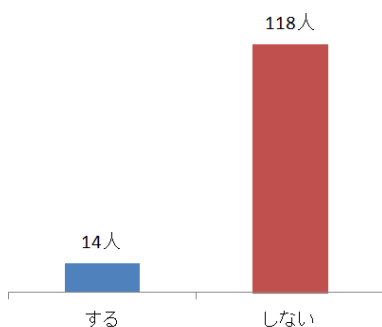


- ・あさび一号により外出回数が「増えた」と答えた人及び「あまり変わらない」と答えた人が約5割となっている。
- ・昨年度の結果と同程度となっている。
- ・一方で、「減った」と答えた人は1%であった。

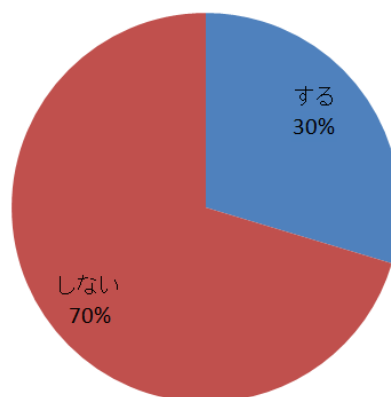
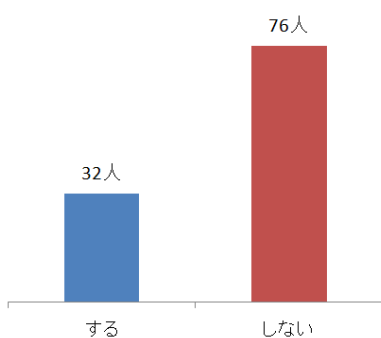
Q. あなたの本日のお出かけについてお聞きします。

⑪本日の乗降内容について

降車後、他ルートへの乗り換え



他の公共交通への乗り換え

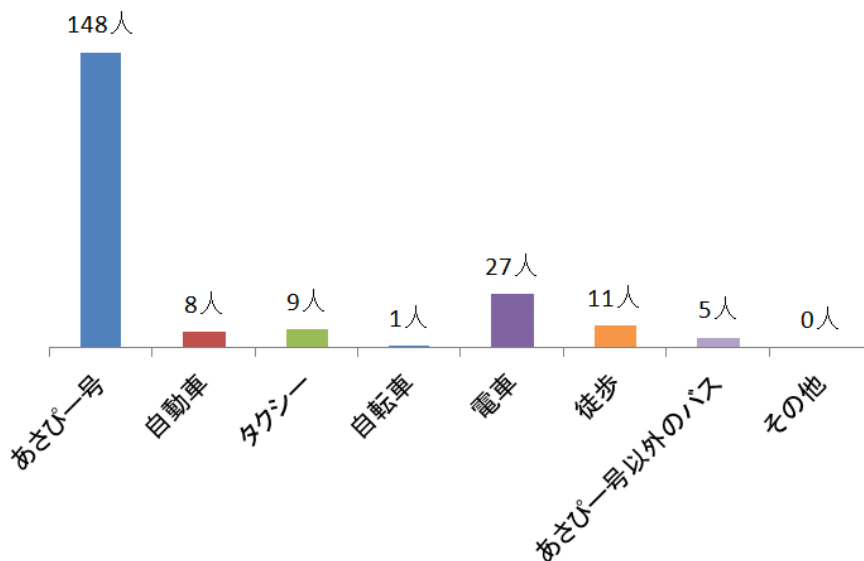


- ・「あさび一号の他ルートへの乗り換え」は回答者の約1割が行っている。
- ・「他の電車・バスへの乗り換え」は回答者の約3割が行っており、「あさび一号の他ルートへの乗り換え」より多かった。

⑬お出かけとお帰りの交通手段（それぞれ2つまで）

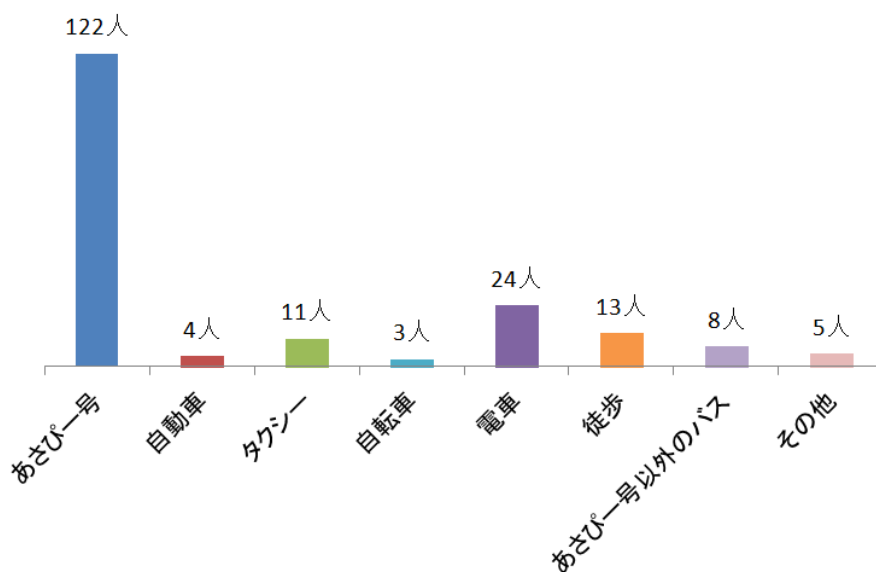
本日のお出かけの交通手段

お出かけの交通手段



本日のお帰りの交通手段

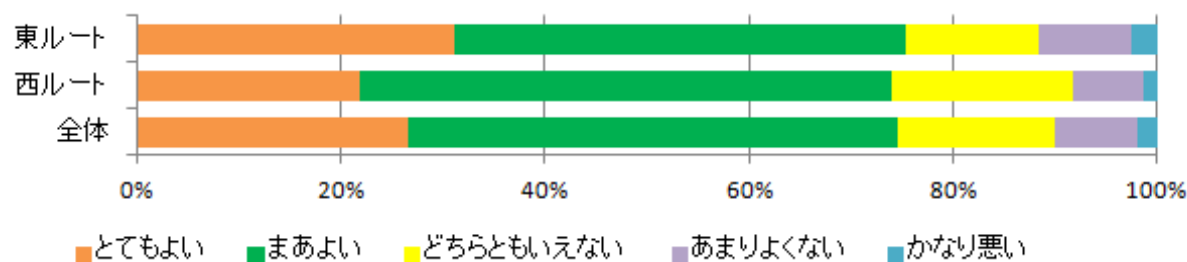
お帰りの交通手段



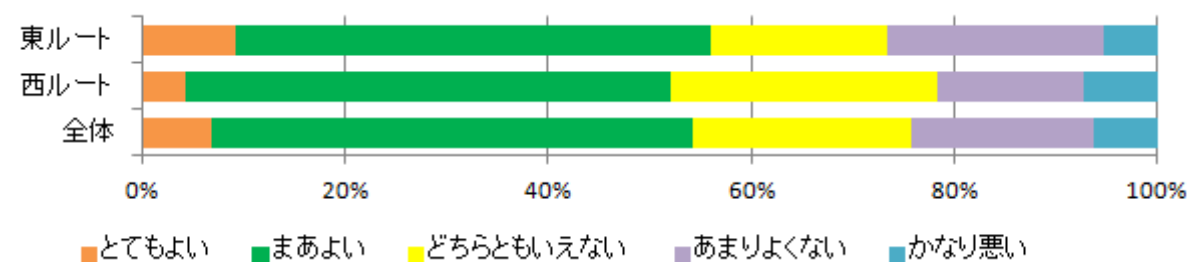
- ・目的地まで「あさび一号」で行き、「あさび一号」で帰る人が非常に多かった。
- ・目的地への行き帰りの交通手段には大きな変化はないが、行きに「あさび一号」を利用して、帰りは「タクシー」や「徒歩」という人が見受けられる。

Q. 市営バスの運行の内容について項目ごとに5段階評価でお答えください。

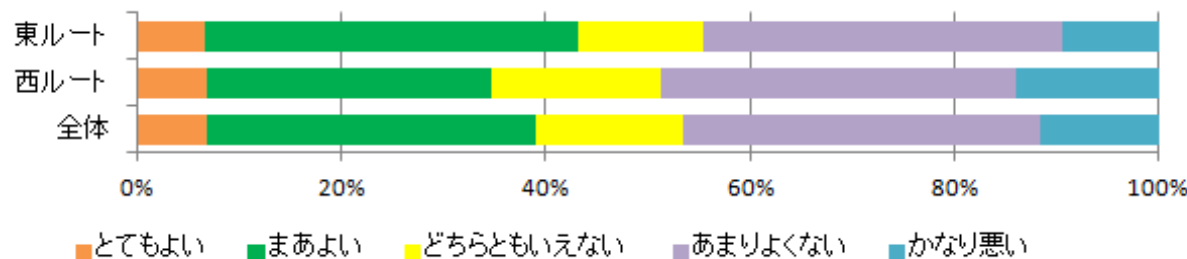
a 運行ルート



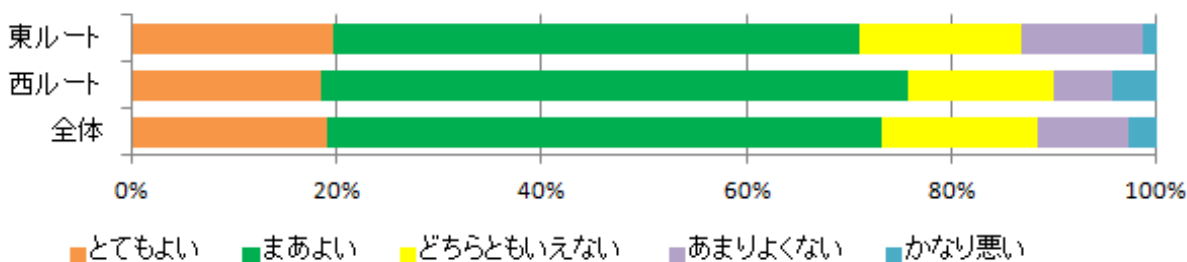
b 運行時間帯



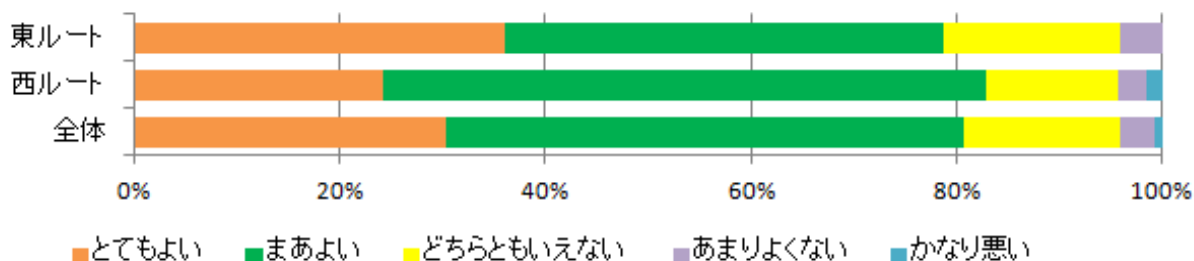
c 運行ダイヤ



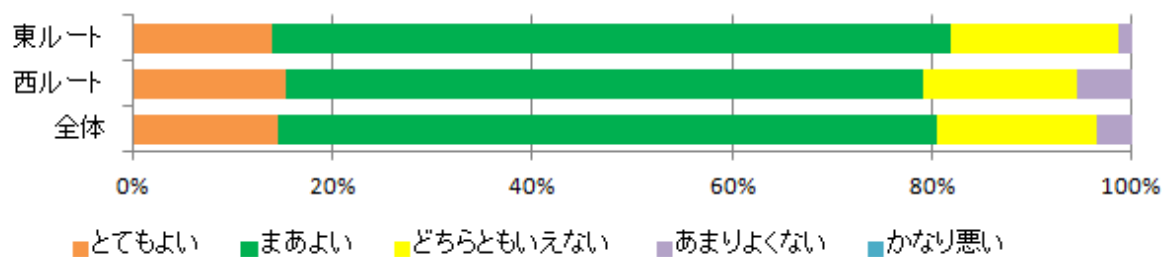
d 乗り心地



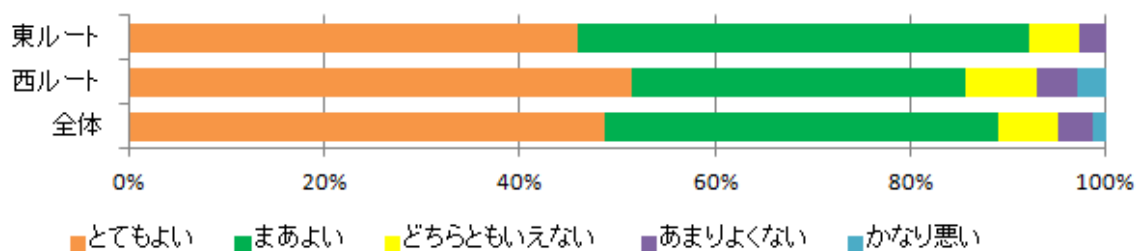
e 停留所の位置



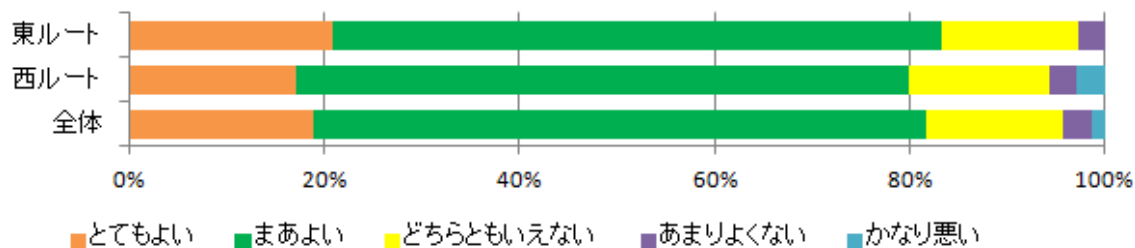
f 停留所の間隔



g 運転手の対応



h 全体



- ・「運行ダイヤ」と「運行時間帯」以外は「とてもよい」「まあよい」を合わせると7割を超えており、特に「運転手の対応」については、全体で9割を超えている。
- ・「運行時間帯」は「とてもよい」「まあよい」を合わせると5割を超えている。
- ・「運行ダイヤ」は、「とてもよい」「まあよい」が合わせて約4割に対し、「あまりよくない」「かなり悪い」を合わせると4割を超えている。
- ・どの結果も昨年度から大きな変化はない。

2 まとめ

○ 利用者の特徴

利用者は、「60歳」以上、「女性」の利用が約7割であった。

職業については、「主婦（夫）」または「無職」の方がほとんどであった。

自ら運転できる交通手段を「持たない」と答えた方が昨年度より増加し、反対に「自動車」と答えた方が減少している。また、利用頻度も「ほとんど毎日」と答えた方が増加していることから、移動手段を自動車からあさび一号へ変更し、毎日利用していただくなど、あさび一号が公共交通として認知されていると考えられる。

利用理由は、「他に交通手段がないから」、「出発地・目的地が停留所の近くだから」、「運賃が安く経済的だから」を多くの方が答えており、その利用目的は「通院」、「買い物・飲食」が多いこと、またお出かけとお帰りの交通手段はともに「あさび一号」が多いことから、主に高齢の方々の日常生活における「足」として、あさび一号は利用がされているといえる。

また、昨年度の結果と比較すると、運行内容の評価に関する意向に大きな変化は見られない。